

(13) 保育所

1) 施設概要

① 施設一覧

■ 保育所

本市では、公立保育所を 11 施設保有しています。公立保育所の総認可定員は 1,134 人で、入所率は 63%となっています。一方で、民間保育園の総認可定員は 1,126 人、入所率は 99%となっています。

設置目的：家庭や地域社会の中で、子どもが健全に育つ環境を整備するとともに、保育にかけ
る児童に対して適切な保育サービスを提供することを目的とする

図表 施設一覧（令和5（2023）年度）

地区			名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数（人）			認可 定員 (人)	入所率	土地 所有	備考
								児童数	3歳 未満	3歳 以上				
公立	豊岡	第一	1 豊岡保育所	扇町屋1-7-17	650.60	昭和46	RC造	75	23	52	150	50%	賃貸借	
		第三	2 高倉保育所	高倉5-1-11	530.70	昭和50	RC造	60	17	43	90	67%	賃貸借	
			3 黒須保育所	宮前町8-18	438.63	昭和44	RC造	55	17	38	90	61%	市有	令和6年度～ 民設民営
	東金子		4 東金子保育所	新久487-2	621.34	昭和47	RC造	70	23	47	90	78%	賃貸借	
	金子	5 金子第一保育所	南峯75	449.44	昭和43	RC造	51	16	35	120	43%	賃貸借		
		6 金子第二保育所	花ノ木142	426.27	昭和45	RC造	44	9	35	84	52%	市有		
	宮寺・二本木	7 宮寺保育所	宮寺595-1	553.57	昭和50	RC造	48	18	30	120	40%	市有		
		8 二本木保育所	二本木231-1	331.81	昭和45	RC造	40	9	31	60	67%	賃貸借		
	藤沢	第一	9 藤沢第二保育所	下藤沢3-36-1	1,007.25	平成12	RC造	99	31	68	120	83%	市有	
		第二	10 藤沢保育所	東藤沢8 - 197-1	1,081.37	平成10	RC造	92	30	62	120	77%	市有	
	西武		11 西武中央保育所	野田519	654.60	昭和52	RC造	83	25	58	90	92%	市有	令和5年度に改修 完了
合計					6,745.58			717	218	499	1,134	63%		

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す（令和 6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

【参考】 民間施設一覧（令和5（2023）年度）

	地区		名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数（人）			認可 定員 (人)	入園率	備考
								児童数	3歳 未満	3歳 以上			
民間	豊岡	第二	1 あけぼの保育園	東町1-8-5	-	-	-	138	46	92	149	93%	入園児数は分園を含む
			2 いるま保育園	東町4-1-24	-	-	-	131	55	76	120	109%	
		第三	3 豊岡保育園	宮前町2-2	-	-	-	100	28	72	120	83%	
			4 しらさぎ保育園	春日町2-12-1	-	-	-	99	39	60	90	110%	
			5 木の実保育園	河原町15-11 駅前第二ビル103	-	-	-	71	31	40	69	103%	
	東金子	6 ChaCha Children Iruma	小谷田64	-	-	-	130	58	72	120	108%	茶々保育園から名称変更	
		7 あけぼの保育園分園	小谷田653-1	-	-	-							
	宮寺・二本木	8 ゆりかご保育園	宮寺3239-2	-	-	-	105	37	68	120	88%		
	藤沢第一	9 こどものくに保育園	下藤沢1305-1	-	-	-	90	30	60	90	100%		
		10 わかばの森保育園	上藤沢687-2	-	-	-	23	23	0	20	115%		
		11 どんごこ保育園	上藤沢547-1	-	-	-	70	33	37	70	100%		
		12 むさしっこ保育園	下藤沢1-12-1	-	-	-	63	29	34	68	93%		
	西武	13 杏ほいくえん	仏子1113-1	-	-	-	93	34	59	90	103%		
合計								1,113	443	670	1,126	99%	

② 配置状況

公立保育所は、1地区当たり1施設から3施設が整備されています。

藤沢地区の2施設を除く9施設は、築30年以上が経過し老朽化の時期をむかえる施設となっています。

図表 保育所位置図



2) 実態把握

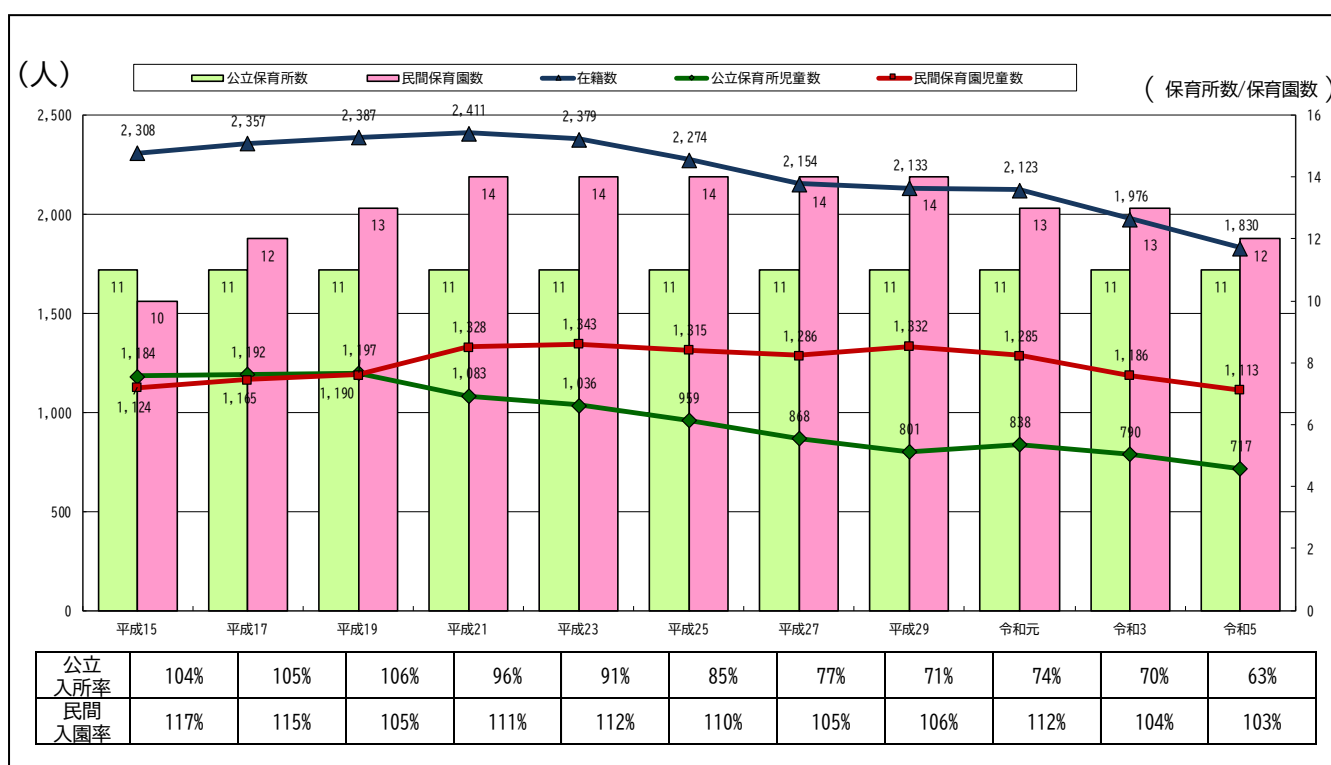
① 利用状況

■ 入所児童数の推移

公立保育所の入所数の推移をみると、平成 15（2003）年度の 1,184 人から平成 19（2007）年度の 1,197 人まで微増しました。その後減少傾向に転じ、令和 5（2023）年度が 717 人まで減少しています。

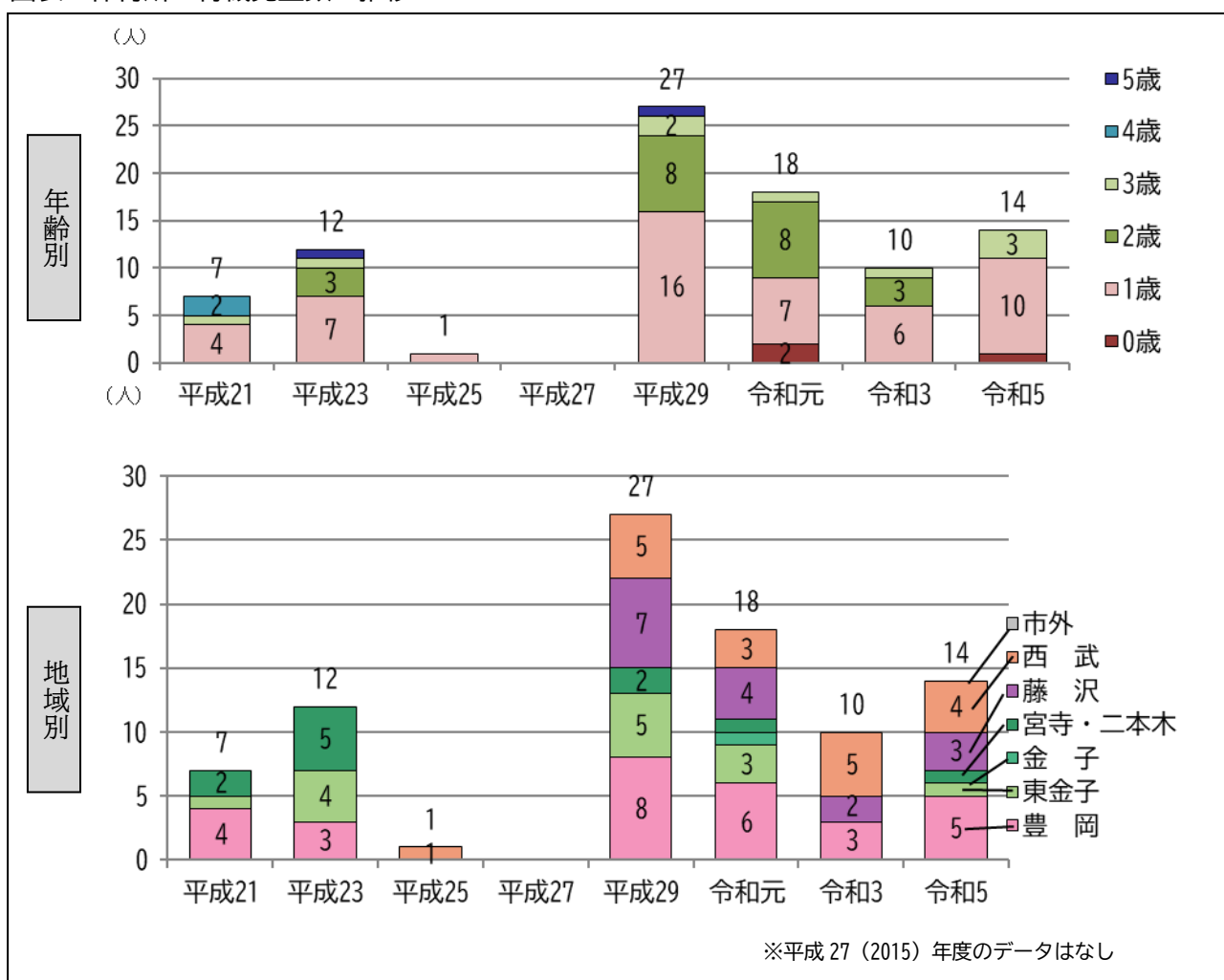
公立民間を合わせた児童数の推移をみると、平成 15（2003）年度の 2,308 人から平成 21（2009）年度の 2,411 人まで微増傾向でしたが、その後、減少に転じ、令和 5（2023）年度は 1,830 人まで減少しています。

図表 保育所の入所児童数の推移



保育所の待機児童数をみると、平成 29（2017）年度の 27 人をピークに減少傾向となり、令和 5（2023）年度は 14 人となっています。年齢別にみると、1 歳児で常に発生しています。地域別では、豊岡地区、東金子地区、宮寺・二本木地区は平成 21（2009）年時点から待機児童が確認できます。藤沢地区、西武地区では平成 21（2009）年前後は待機児童が発生していませんでしたが、近年において待機児童が確認できるようになってきています。

図表 保育所の待機児童数の推移

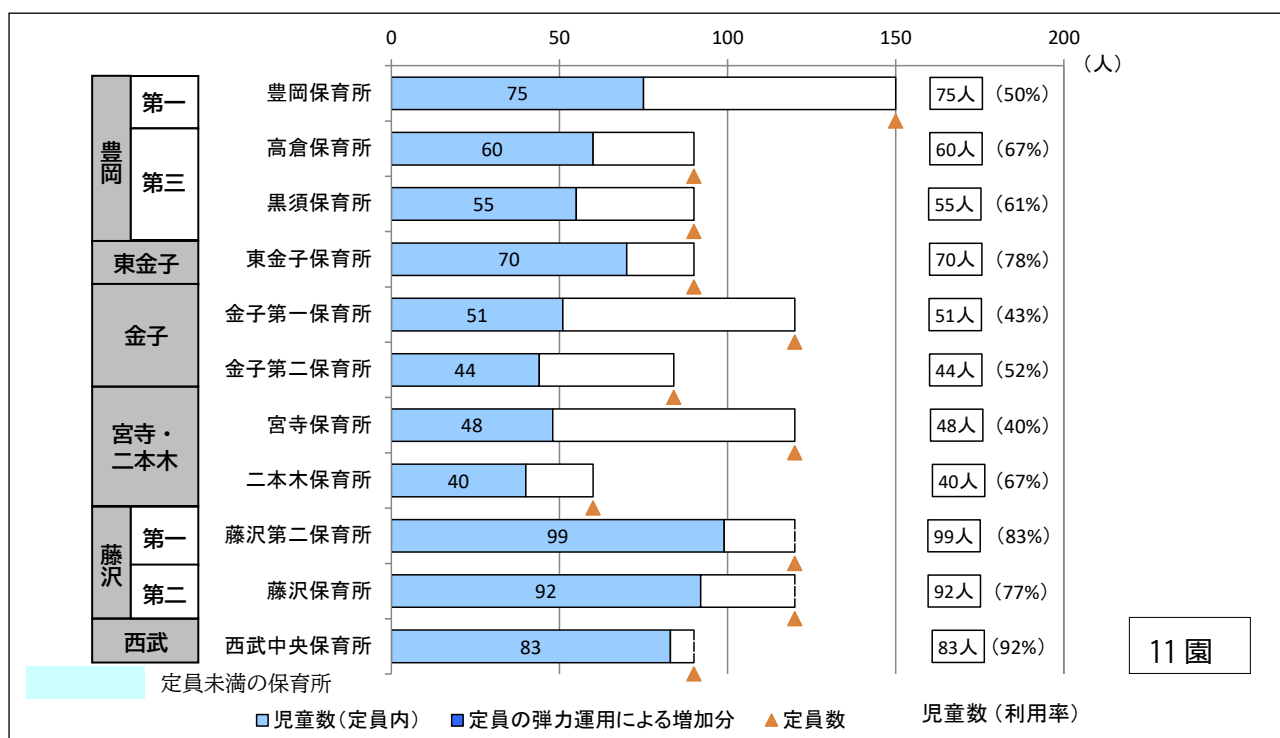


■ 施設別の入園状況

公立保育所の施設別の定員数と児童数は、全施設で定員未満となっています。

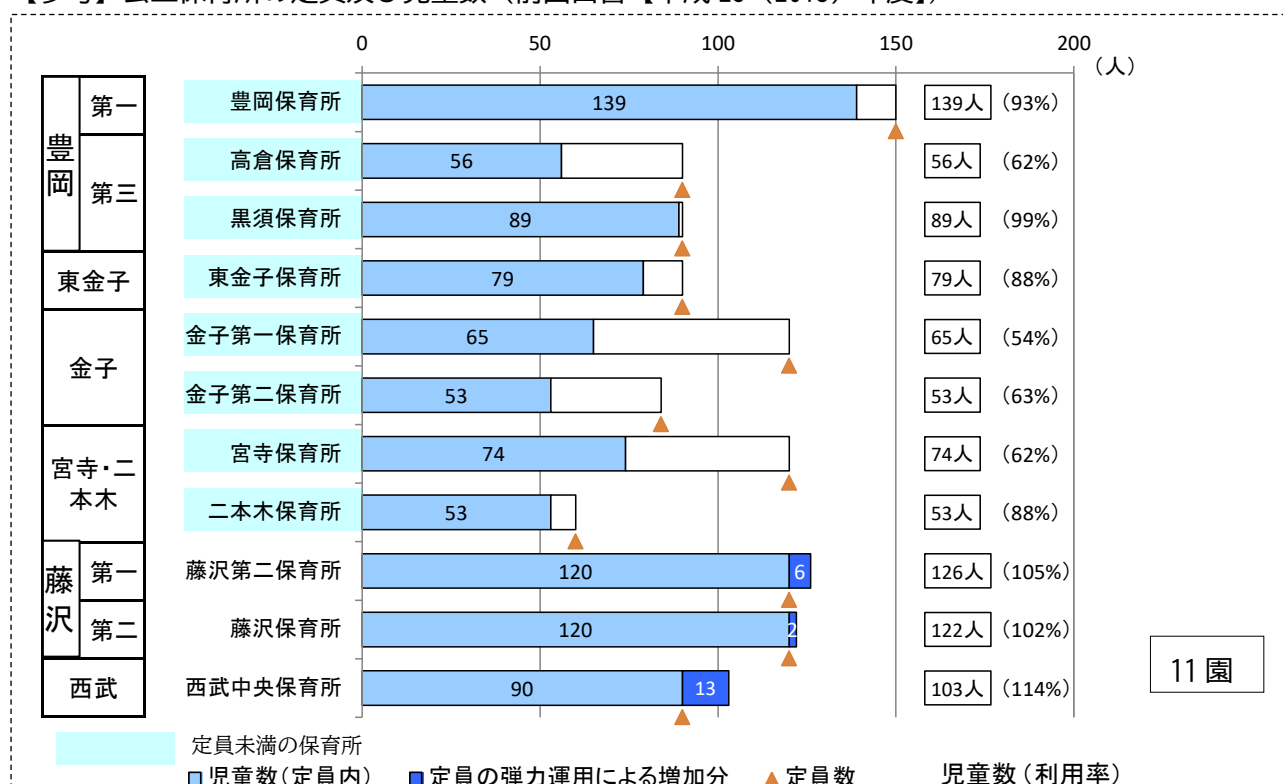
平成 25（2013）年度と比べると、高倉保育所で園児数が若干増加していますが、全施設で定員割れがみられ、宮寺保育所、金子第一保育所、豊岡保育所は定員の半数以下となっています。

図表 公立保育所の定員及び児童数（令和 5（2023）年度）



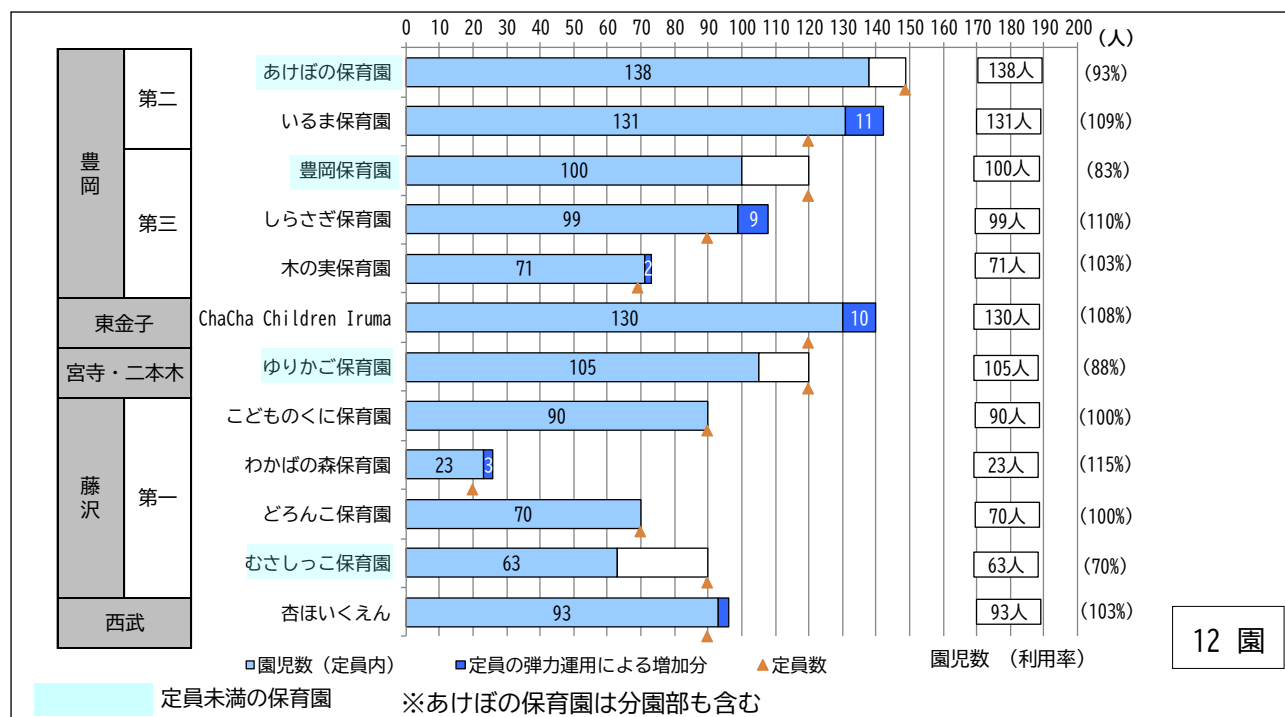
出典：入間市統計書

【参考】公立保育所の定員及び児童数（前回白書【平成 25（2013）年度】）



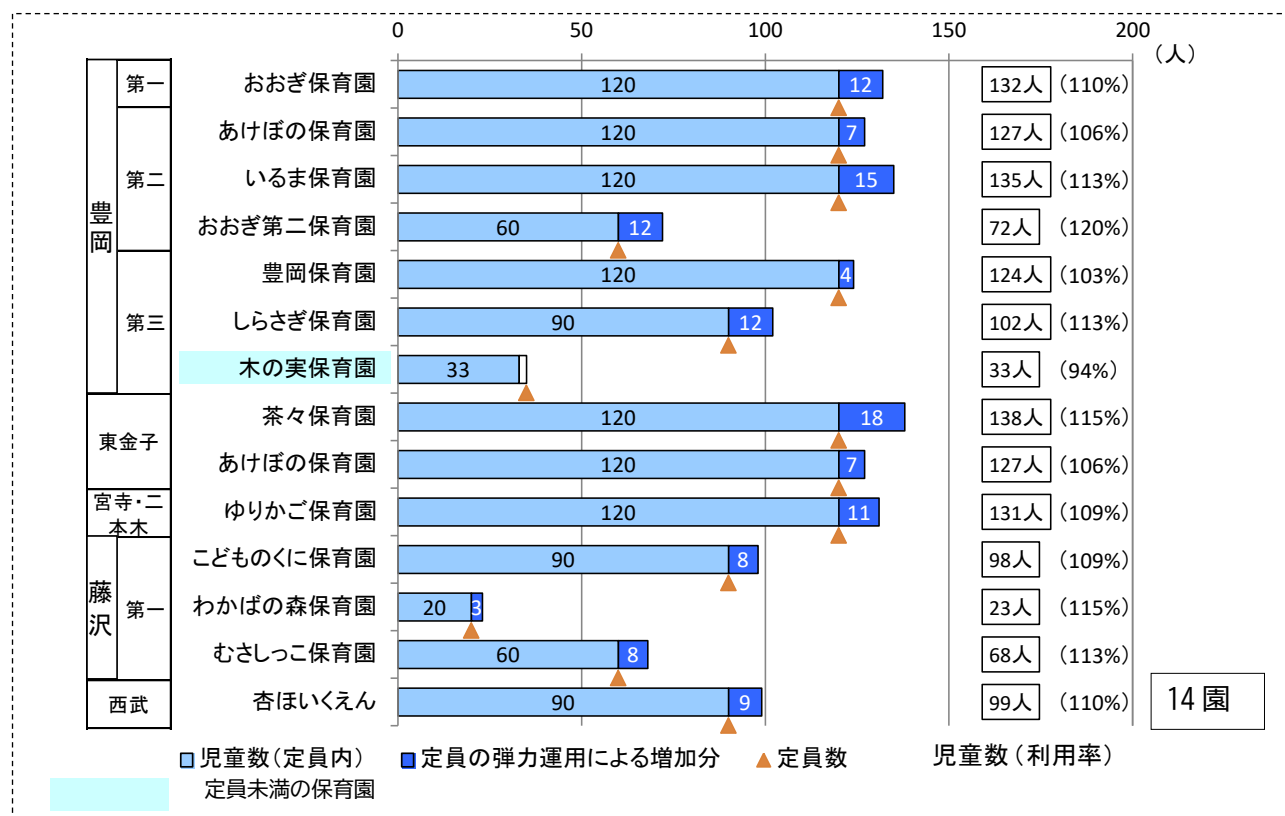
民間保育園の児童数は、平成 25（2013）年度に、1 施設、令和 5（2023）年度は 4 施設が定員未満となっていますが、公立保育所と比較すると、定員割れの施設の入園率は、83～93%という高い数値を示しており、余裕がない状況がうかがえます。

図表 ＜参考＞ 民間保育園の定員及び児童数（令和 5（2023）年度）



出典：入間市統計

【参考】民間保育園の定員及び児童数（前回白書【平成 25（2013）年度】）



② 運営状況

保育所の管理運営は、11 園のうち 10 園が直営で、令和 6（2024）年度より黒須保育所が民設民営へ移行し黒須保育園となっています。

運営人員は、1 施設当たりの職員が 11 人～18 人、再任用職員が 1 人～2 人、嘱託職員が 4 人～10 人等で、1 施設当たり 21 人から 43 人が従事しています。

図表 施設別のスペース構成及び運営人員（令和 4（2022）年度）

定員 児童数	施設名	スペース構成 (㎡)							運営人員(人)				
		0	200	400	600	800	1,000	1,200	職員	再任用職員	嘱託職員	パート職員	合計
150人 75人	豊岡保育所	227	88	261	651 ㎡				13人	1人	4人	8人	26人
90人 60人	高倉保育所	140	80	242	531 ㎡				11人	0人	5人	5人	21人
90人 55人	黒須保育所	80	98	165	439 ㎡				-	-	-	-	-
90人 70人	東金子保育所	237	81	304	621 ㎡				11人	1人	7人	8人	27人
120人 51人	金子第一保育所	117	121	163	449 ㎡				14人	0人	6人	3人	23人
84人 44人	金子第二保育所	127	77	181	426 ㎡				13人	0人	4人	5人	22人
120人 48人	宮寺保育所	186	66	80	201	554 ㎡			12人	0人	7人	7人	26人
60人 40人	二本木保育所	78	83	128	332 ㎡				11人	0人	7人	4人	22人
120人 99人	藤沢第二保育所	365	94	498	1,007 ㎡				18人	0人	9人	12人	39人
120人 92人	藤沢保育所	290	127	89	525	1,081 ㎡			18人	2人	10人	13人	43人
90人 83人	西武中央保育所	161	66	81	315	655 ㎡			15人	0人	7人	9人	31人
1,134人 717人	■ 保育室 ■ 乳児室 ■ 遊戯室 ■ ほふく室 ■ 調理室 ■ 調乳室 □ その他共用部								136人	4人	66人	74人	280人

※定員・児童数は、令和 5（2023）年度の値

③ コスト情報

保育所 11 施設の年間トータルコストは、16 億 1,591 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 8,324 万円（5%）、事業にかかるコストは 14 億 5,087 万円（90%）、減価償却相当額は 1,462 万円（1%）となっています。

施設別トータルコストは、黒須保育所の 6,866 万円から藤沢保育所の 2 億 1,906 万円です。藤沢第二保育所、藤沢保育所のトータルコストは 2 億円を超えています。その要因として、人件費が他の保育所より高くなっていることがあげられます。

図表 施設別行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

（円）

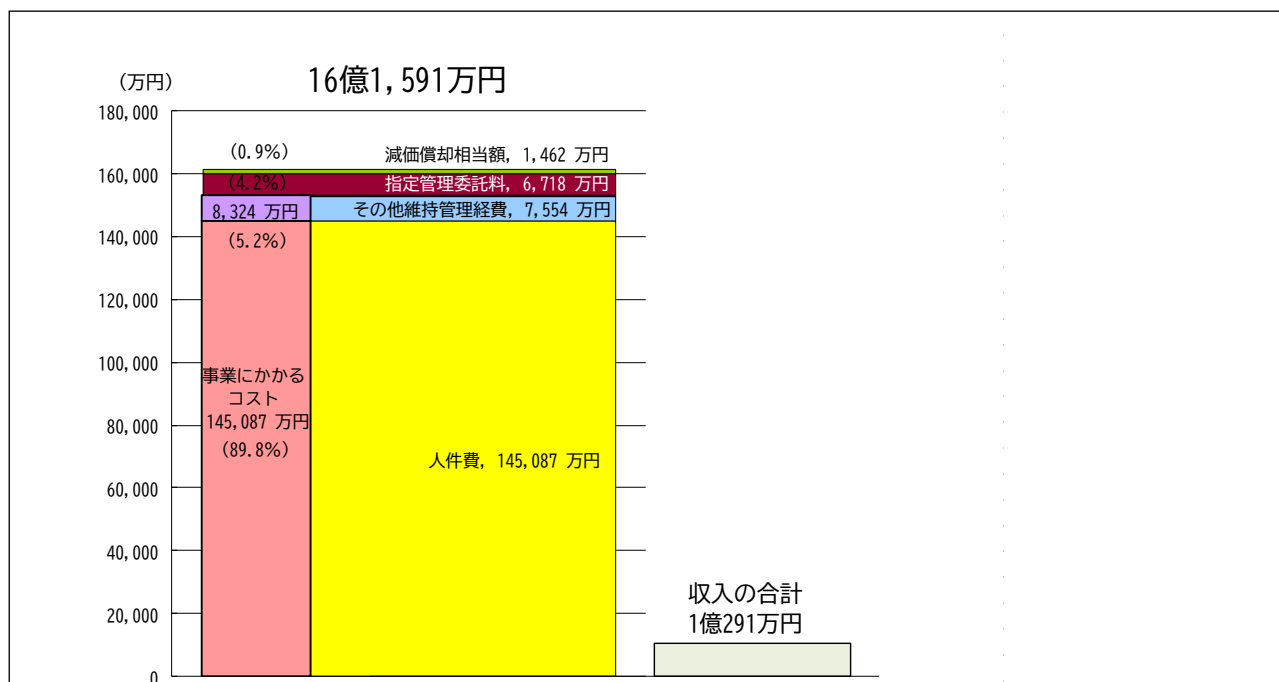
Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		豊岡保育所	高倉保育所	黒須保育所	東金子保育所	金子第一保育所	金子第二保育所
施設にかかるコスト	修繕費	106,920	952,127	1,481,848	415,998	1,274,757	1,403,545
	光熱水費	2,724,129	2,493,424	0	2,744,207	2,139,023	2,011,658
	委託費	2,455,887	1,738,137	0	1,784,887	2,144,587	2,137,317
	使用料及び賃借料	5,603,661	4,372,437	0	393,457	2,226,891	254,553
	その他物件費	8,704,296	39,838	0	42,781	37,421	46,963
	管理運営にかかるコスト	19,594,893	9,595,963	1,481,848	5,381,330	7,822,679	5,854,036
	人件費	131,109,000	113,623,000	0	129,330,000	137,681,000	124,328,000
事業にかかるコスト	事業にかかるコスト	131,109,000	113,623,000	0	129,330,000	137,681,000	124,328,000
指定管理委託料		0	0	67,182,018	0	0	0
現金収支を伴うコスト 計		150,703,893	123,218,963	68,663,866	134,711,330	145,503,679	130,182,036
【収入の部】							
収入 使用料収入		10,203,060	6,257,940	6,023,565	8,250,070	7,676,900	7,654,310
収入の合計		10,203,060	6,257,940	6,023,565	8,250,070	7,676,900	7,654,310
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	0	1,843,600	0	0	0	0
Ⅲ. 総括							
コストの部合計（トータルコスト）		150,703,893	125,062,563	68,663,866	134,711,330	145,503,679	130,182,036

Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		宮寺保育所	二本木保育所	藤沢第二保育所	藤沢保育所	西武中央保育所	合計
施設にかかるコスト	修繕費	146,850	165,430	56,980	430,430	1,261,320	7,696,205
	光熱水費	2,581,400	2,057,753	2,965,884	3,354,147	3,319,792	26,391,417
	委託費	2,017,417	1,899,143	1,742,537	2,085,517	4,781,287	22,786,716
	使用料及び賃借料	367,656	1,629,996	671,124	579,181	950,169	17,049,125
	その他物件費	48,880	124,238	93,336	93,014	81,408	9,312,175
	管理運営にかかるコスト	5,162,203	5,876,560	5,529,861	6,542,289	10,393,976	83,235,638
	人件費	133,288,000	120,971,000	195,605,000	205,741,000	159,195,000	1,450,871,000
事業にかかるコスト	事業にかかるコスト	133,288,000	120,971,000	195,605,000	205,741,000	159,195,000	1,450,871,000
指定管理委託料		0	0	0	0	0	67,182,018
現金収支を伴うコスト 計		138,450,203	126,847,560	201,134,861	212,283,289	169,588,976	1,601,288,656
【収入の部】							
収入 使用料収入		7,673,070	5,845,100	13,804,350	15,155,960	14,365,100	102,909,425
収入の合計		7,673,070	5,845,100	13,804,350	15,155,960	14,365,100	102,909,425
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	0	0	5,997,640	6,776,000	0	14,617,240
Ⅲ. 総括							
コストの部合計（トータルコスト）		138,450,203	126,847,560	207,132,501	219,059,289	169,588,976	1,615,905,896

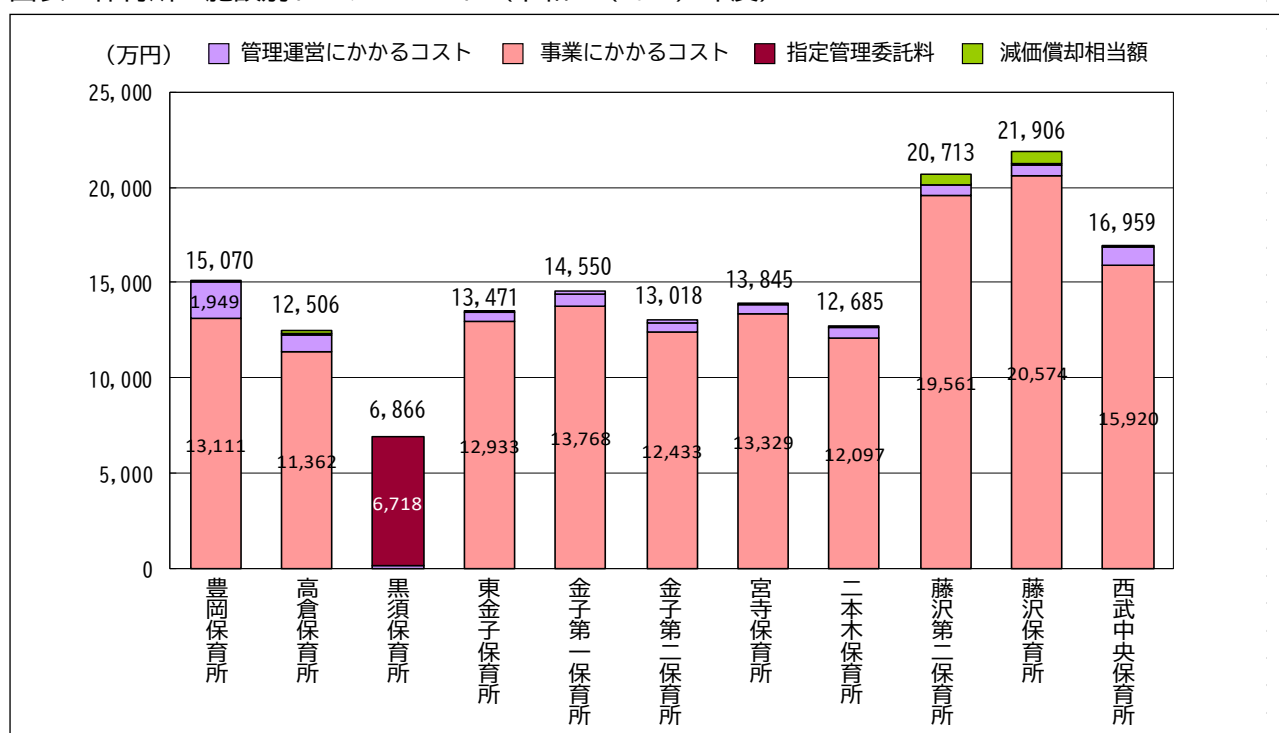
※西武中央保育所の委託費には、改修工事実施設計業務委託費も含む。

※東金子保育所の保育室解体工事費は除く。

図表 保育所 全施設トータルコスト（令和4（2022）年度）



図表 保育所 施設別トータルコスト（令和4（2022）年度）

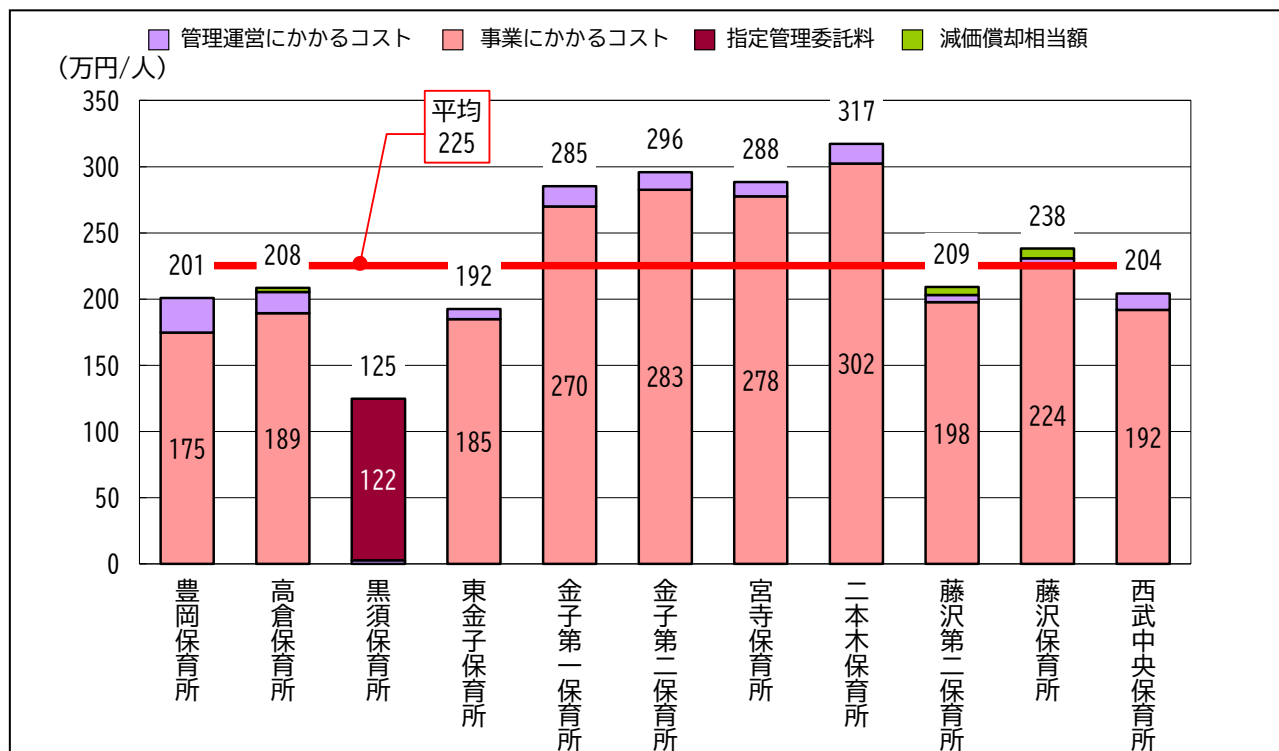


3) 分析

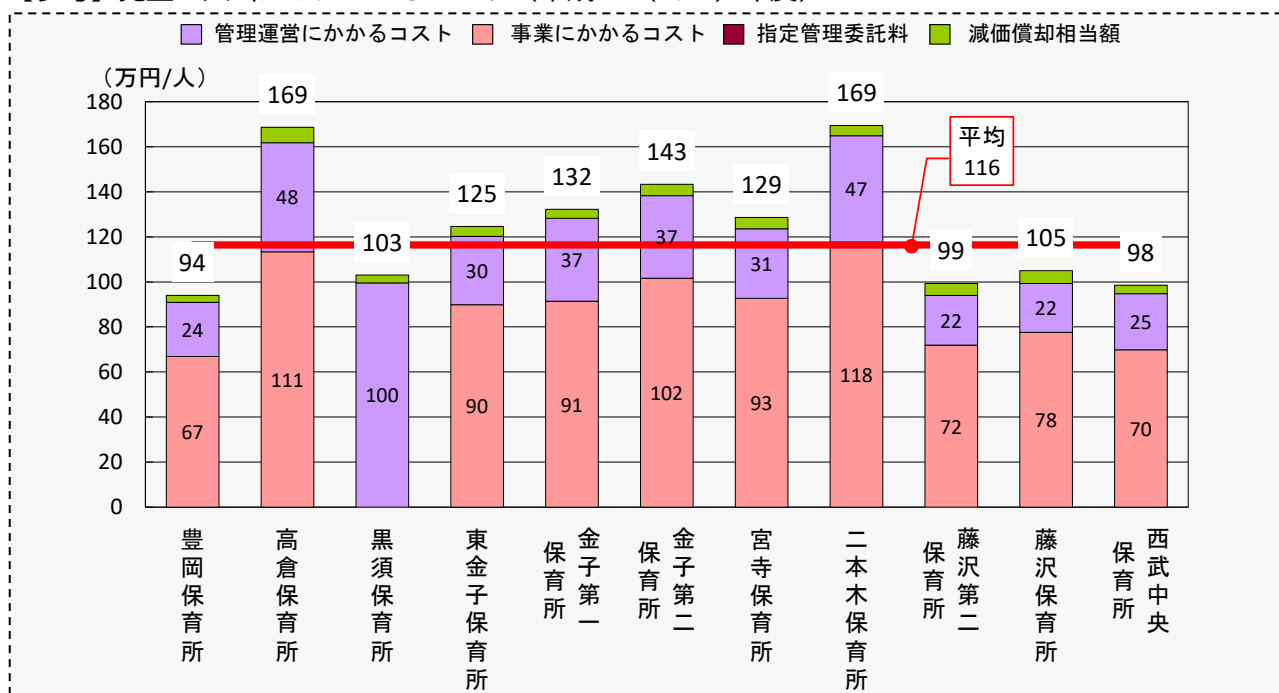
■ 児童 1 人当たりにかかるコスト

児童数とトータルコストから、児童 1 人当たりにかかるコストを算出すると、黒須保育所の 125 万円/人から二本木保育所の 317 万円/人となっています。なお、保育所の平均は 226 万円/人となっており、平成 24 (2012) 年度と比較すると、全保育所でコストが増加しています。

図表 児童 1 人当たりにかかるコスト (令和 4 (2022) 年度)



【参考】児童 1 人当たりにかかるコスト (平成 24 (2012) 年度)



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 平成 30（2018）年度で市立幼稚園を閉園、公立施設は保育所のみとなりました。
- ② 市全体で、公立保育所、民間保育園ともに入所児童数は減少が続いています。
- ③ 公立保育所は全施設で定員未満となっており、児童数、入所率ともに減少しています。

<運営状況>

- ④ 公立保育所の運営時間は 18 時半までで、延長保育は行っていません。
- ⑤ 民間保育園は延長保育を行っている保育園があり、22 時まで園児を預けることができます。
- ⑥ 令和 6（2024）年度より黒須保育所が民設民営へ移行しました。

<コスト状況>

- ⑦ 管理運営にかかるコスト、事業にかかるコストの増加により、児童 1 人当たりのコストの平均コストも、平成 24（2012）年度と比較して約 2 倍に増加しています。

4) 課題の明確化

- 民間保育園は定員を超える状況が継続しているのに対して、公立の全保育所は定員未満の状況が続き、園児数も減少傾向にあります。また市の保有する保育所は築 30 年以上経過している施設が多く、最も新しい施設も 20 年を超えています。そのため、今後は老朽化の対応を検討すると同時に、周辺の学校への複合化や保育所の集約化等、保育所のあり方を検討する必要があります。

(14) 学童保育室

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、学童保育室を 25 施設保有しています。施設数は、平成 24（2012）年の 17 施設から、8 施設増加していますが、9 施設は、小学校の校舎内に複合化しており、建物を共有しています。学童保育室の管理運営は、藤沢北、藤沢北第二、藤沢北第三、金子、金子第二保育室は業務委託となっています。その他の学童保育室は、市の直営となっています。

設置目的：保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）			建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併 設施設 小学校	土地 所有	備考
			学童保育室	複合施設	合計					
豊岡	第一	1 扇学童保育室	121.35	-	219.17	平成元	プレハブ造		市	扇学童保育室と同一建物
		2 扇第二学童保育室	97.82	-		平成元	プレハブ造			
	第二	3 豊岡学童保育室	95.63	7,441.92	7,537.55	昭和58	RC造	複合	市	豊岡小学校に複合化
		4 豊岡第二学童保育室	95.62			昭和58	RC造	複合	市	豊岡小学校に複合化
		5 東町学童保育室	147.00	7,226.54	7,373.54	昭和55	RC造	複合	市	東町小学校に複合化
		6 東町第二学童保育室	96.00			昭和55	RC造	複合	市	東町小学校に複合化
		7 藤沢北学童保育室	160.73	-	367.75	令和3	木造	併設	市	藤沢北小学校敷地に併設
		8 藤沢北第二学童保育室	70.39	-		令和3	木造	併設		藤沢北学童保育室と同一建物
		9 藤沢北第三学童保育室	136.63	-		令和3	木造	併設		藤沢北学童保育室と同一建物
	第三	10 高倉学童保育室	193.00	6,262.24	6,255.24	昭和63	RC造	複合	市	高倉小学校に複合化
		11 黒須学童保育室	234.61	-	234.61	昭和61	プレハブ造		市	
東金子	12 東金子学童保育室	小谷田1524	120.19	6,308.78	6,428.97	昭和50	RC造	複合	市	東金子小学校に複合化
	13 新久学童保育室	新久500	122.84	5,934.83	6,057.67	昭和55	RC造	複合	市	新久小学校に複合化
金子	14 金子学童保育室	西三ツ木150	108.60	-	108.60	平成2	S造	併設	市	金子小学校敷地に併設
	15 金子第二学童保育室		93.14	-	93.14	平成28	S造	併設		金子小学校敷地に併設
宮寺・二本木	16 宮寺学童保育室	宮寺594-1	78.75	4,205.01	4,283.76	昭和52	RC造	複合	賃貸借（一部）	宮寺小学校に複合化
	17 狭山学童保育室	二本木71-1	173.00	-	173.00	平成5	プレハブ造	併設	市	狭山小学校敷地に併設
藤沢	第一	18 藤沢学童保育室	108.48	-	108.48	平成5	木造	併設	市	藤沢小学校敷地に併設
		19 藤沢南学童保育室	111.78	-	218.60	平成29	S造	併設	市	藤沢南小学校敷地に併設
		20 藤沢南第二学童保育室	106.82	-		平成29	S造	併設		藤沢南学童保育室と同一建物
	第二	21 藤沢東学童保育室	199.00	6,407.40	6,606.40	昭和52	RC造	複合	市	藤沢東小学校に複合化
		22 藤沢東第二学童保育室	161.09	-	161.09	平成29	プレハブ造	併設		藤沢東小学校敷地に併設
西武	23 西武学童保育室	野田498	94.62	-	189.23	平成26	S造	併設	市	西武小学校敷地に併設
	24 西武第二学童保育室		94.61	-		平成26	S造	併設		西武学童保育室と同一建物
	25 仏子学童保育室	仏子433-1	112.62	-	112.62	平成7	木造	併設	市	仏子小学校敷地に併設
合計			3,134.32							

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す（令和 6（2024）年度基準）

複合 → 小学校または学童保育室の建物内に設置している施設

併設 → 小学校の敷地に併設している施設

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

保護者の就労等により常時留守となる家庭や、病人の介護等により家庭において十分に保育することができない児童（小学 1～6 年生）の心身の健全な育成を図るため学童保育室を開設しています。

学童保育室は、放課後の子どもたちの、安心・安全な生活を継続的に保障し、毎日の生活を通して子どもの育成を支援するとともに、保護者の働く権利と家族の生活を守ります。これを踏まえ、「思いやりを持ち主体的に生活する力」を育むことを目的とした施設です。

③ 開室時間・開室日数

開室時間		閉室日	開室日数
学校授業日・平日	放課後～午後 6 時 30 分まで 延長保育 午後 6 時 30 分～午後 7 時	日曜日、祝日、 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	260 日～ 296 日※
土曜日・学校休校日	午前 8 時～午後 6 時 30 分まで 延長保育 午前 7 時 30 分～午前 8 時 午後 6 時 30 分～午後 7 時		

※施設によって異なる

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

<申し込み要件>

以下の理由による留守等の状況が、原則 16 時以降まで、かつ、1 ヶ月 16 日以上であることが「常時留守家庭の児童」及び「家庭での保育が困難な児童」の基準で、学童保育室へ入室できる児童になります。

- 保護者が家庭の外で仕事をするなどにより、家庭がいつも留守の場合
- その児童の家庭にいつも介護等を必要とする病人がいる場合
- 妊娠等により家庭での保育が困難な場合（出産（予定）月を含む前後 1 ヶ月のみ）
- 保護者（中学生以上の家族、親戚、近所の方、またはファミリー・サポート・センター）が迎えに来られること

※利用に際する申込は、随時オンライン申請による受付（利用希望月の前月 10 日締切）を行っています。

■ 使用料金

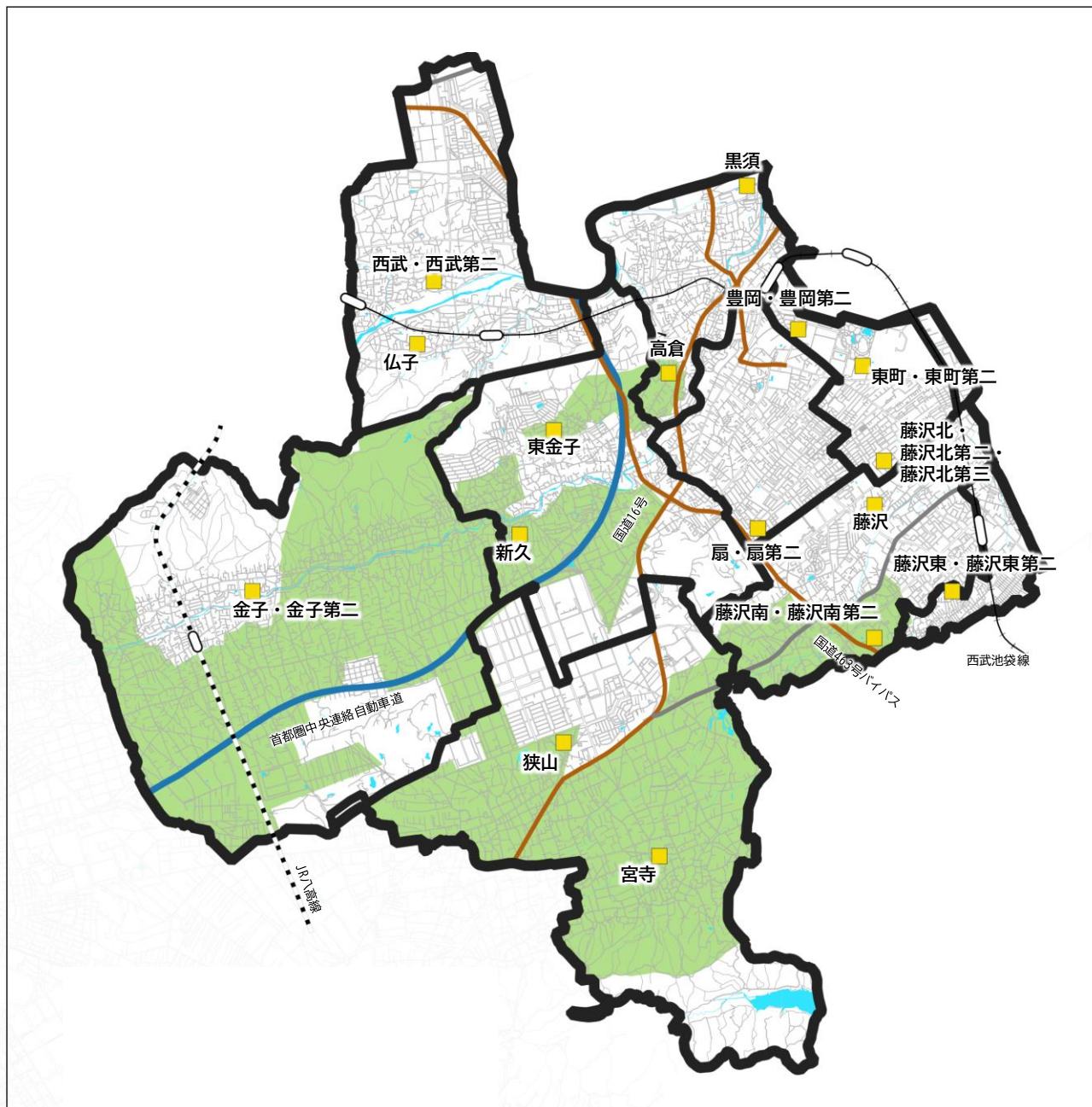
<保育料等>

保育料は月額 7,000 円（D 階層）です。土曜・長期休業日などの学校休業日、延長保育の利用実績に応じて、翌月の保育料へ額が加算されます。また入室決定後、下表の A・B・C 階層に該当する場合は、申請により保育料が変更となります。（下表参照）

区分	前年分 所得税	前年度 市民税	保育料 (円/月)	学校休業日 加算額 (円/日)	延長時間加算額 (朝夕別加算) (円/回)	障害保険料 保護者負担金 (円/年)
D 階層	課税	—	7,000 円	280 円	100 円	1,000 円
C 階層	非課税	課税	3,000 円	120 円		
B 階層	非課税	非課税	0 円	0 円	0 円	0 円
A 階層	生活保護等					

⑤ 配置状況

図表 学童保育室位置図



2) 実態把握

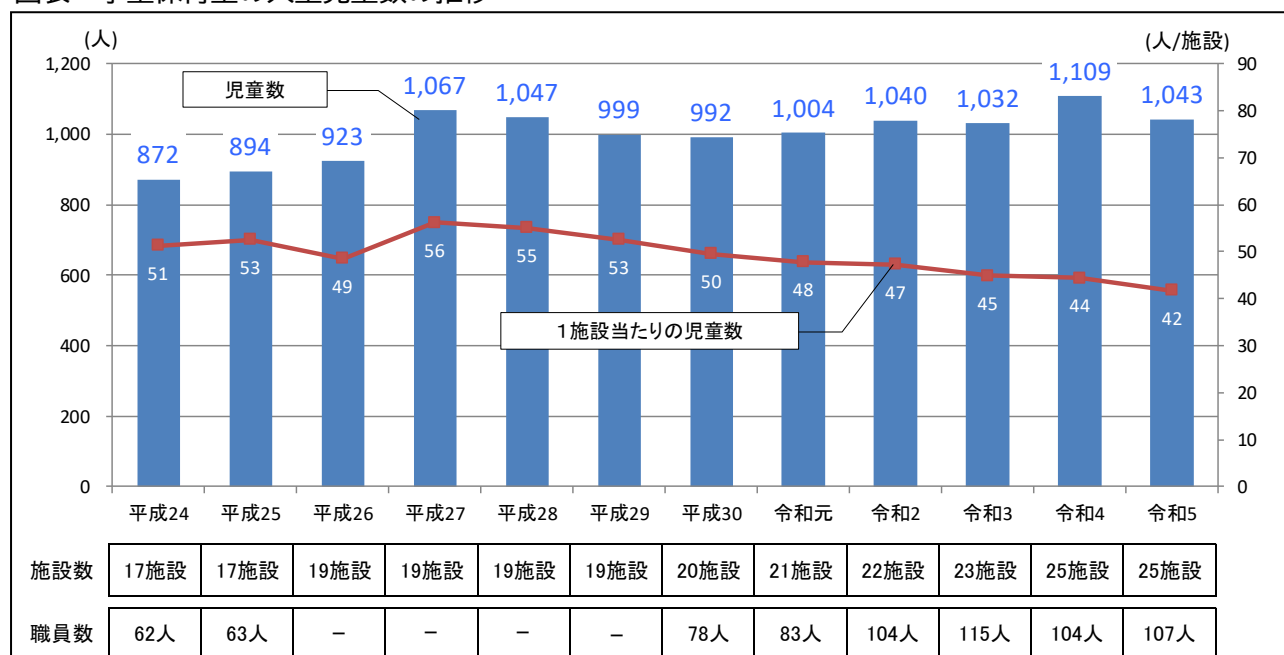
① 利用状況

■ 入室児童数の推移

入室児童数の推移をみると、平成 24（2012）年度の 872 人から令和 5（2023）年度の 1,043 人まで増加傾向となっており、ニーズの増加もあって過去 10 年間で 8 施設増加しています。

学童保育室の待機児童をみると、令和 5（2023）年度は 83 人と、前年度 21 人と比較して大幅に増加しています。

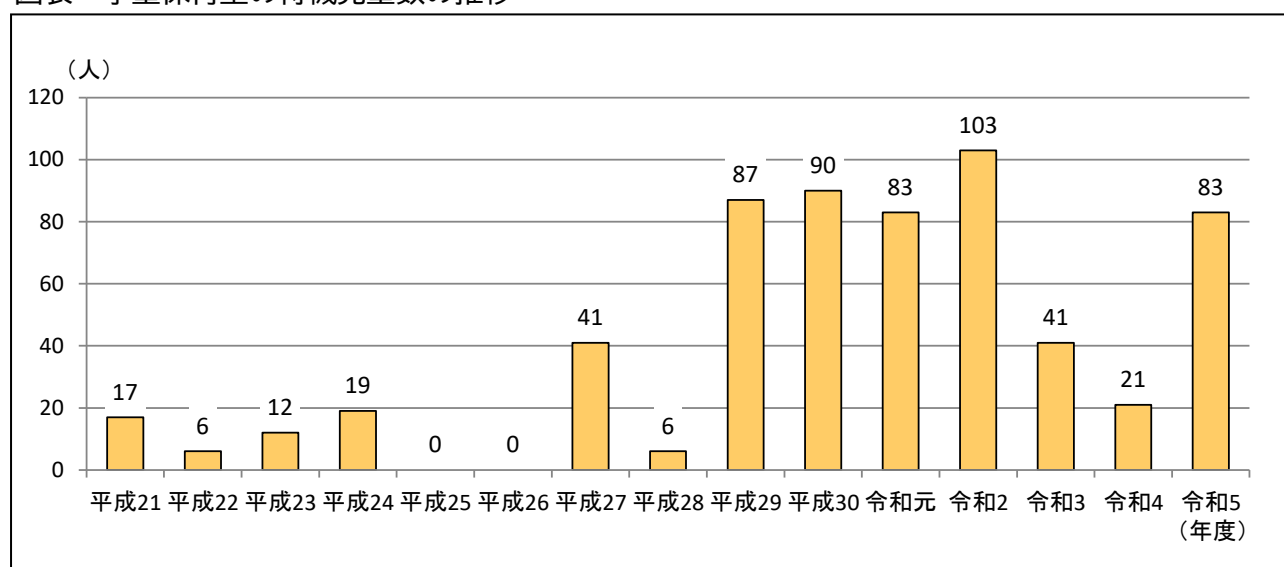
図表 学童保育室の入室児童数の推移



※平成 26（2014）年度～平成 29（2017）年度の職員数のデータはなし

出典：入間市統計書

図表 学童保育室の待機児童数の推移

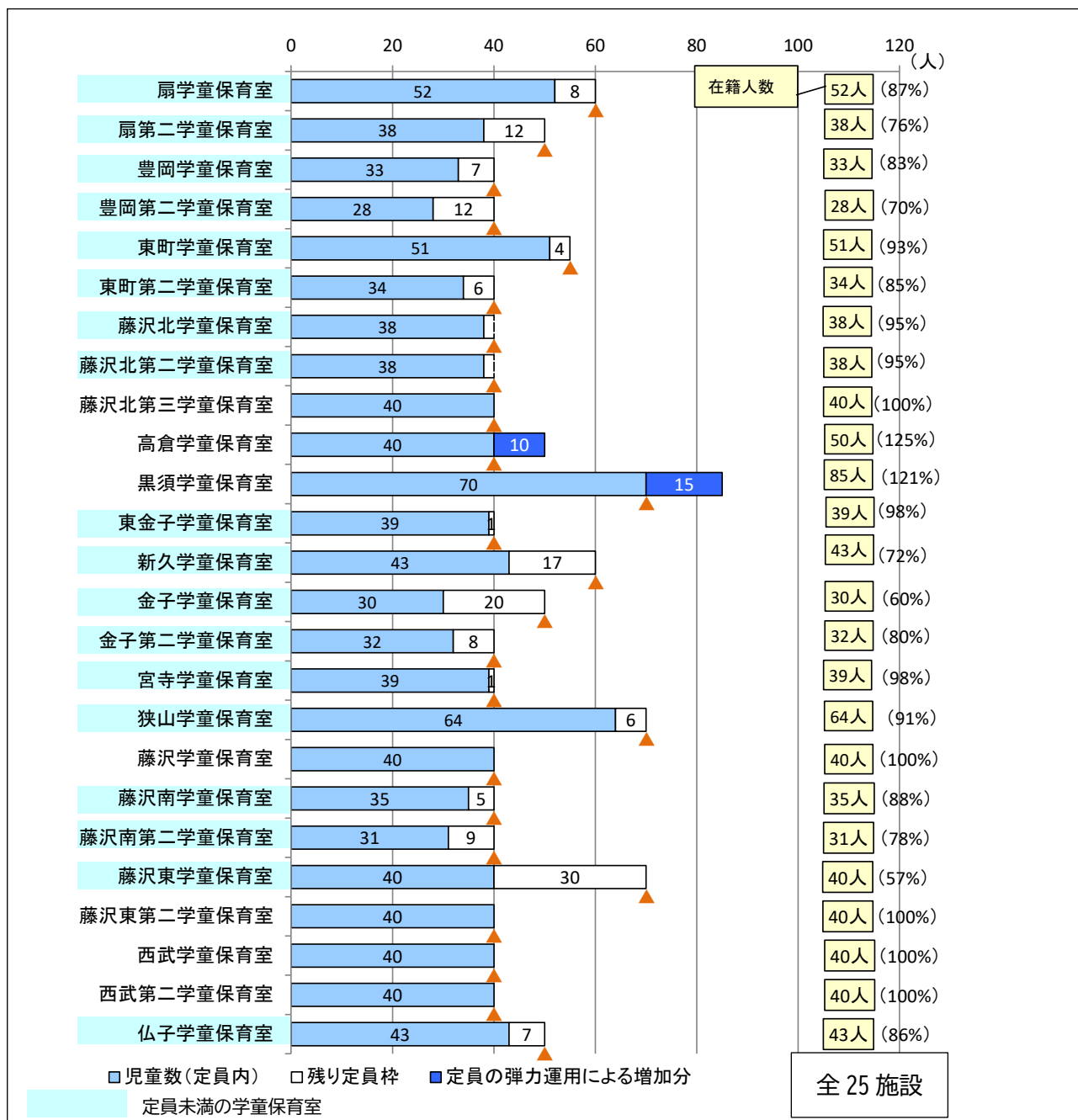


出典：入間市資料

■ 施設別の入室状況

学童保育室の施設数は、平成 25（2013）年度で 17 施設でしたが、その後徐々に増加し、令和 5（2023）年度では、25 施設となっています。定員数と児童数は、25 施設中 18 施設で定員未満となっていますが、一方で、定員を超えている 2 施設は、定員の弾力的運用により運営を行っています。

図表 学童保育室の定員及び児童数（令和 5（2023）年度）



出典：入間市統計書

② 運営状況

学童保育室 25 施設のうち 20 施設の管理運営は、直営を行っています。藤沢北、藤沢北第二、藤沢北第三、金子、金子第二の 5 施設については、運営業務を委託しています。

令和 5（2023）年度の運営人員は、直営 20 施設の合計 107 人で従事しています。

図表 運営人員（令和 5（2023）年度）

			(人)									
			扇学童 保育室	扇第二 学童保 育室	豊岡学 童保育 室	豊岡第 二学童 保育室	東町学 童保育 室	東町第 二学童 保育室	高倉学 童保育 室	黒須学 童保育 室	東金子 学童保 育室	新久学 童保育 室
学 童 保 育 室 運 営	直 営	嘱託職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		パート職員	4	4	4	4	4	3	5	8	5	4
		合 計	5	5	5	5	5	4	6	9	6	5

												(人)	
			宮寺学 童保育 室	狭山学 童保育 室	藤沢学 童保育 室	藤沢南 学童保 育室	藤沢南 第二学 童保育 室	藤沢東 学童保 育室	藤沢東 第二学 童保育 室	西武学 童保育 室	西武第 二学童 保育室	仏子学 童保育 室	合計
学 童 保 育 室 運 営	直 営	嘱託職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
		パート職員	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	87
		合 計	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	107

③ コスト情報

学童保育室 25 施設の年間トータルコストは、4 億 8,053 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 3,430 万円（7%）、事業にかかるコストは 4 億 3,314 万円（90%）、減価償却相当額は 1,305 万円（3%）となっています。当該施設からは、年間 7,984 万円の収入があります。

図表 学童保育室 施設別行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

（円）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		扇学童保育室	扇第二学童保育室	豊岡学童保育室	豊岡第二学童保育室	東町学童保育室	東町第二学童保育室	藤沢北学童保育室	藤沢北第二学童保育室	藤沢北第三学童保育室
かかるコスト 管理運営にか かるコスト	修繕費	114,862	36,762	119,350	0	0	0	0	0	0
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費	493,910	0	22,265	0	0	0	714,058	0	0
	委託費	12,530	12,530	782,530	12,530	12,530	12,530	815,530	0	0
	使用料及び賃借料	98,177	76,718	76,718	76,718	76,718	76,718	40,833	22,572	25,574
	その他物件費	795,624	500,377	3,572,038	3,572,038	755,347	566,214	47,934	47,934	47,937
	管理運営にかかるコスト	1,515,103	626,387	4,572,901	3,661,286	844,595	655,462	1,618,355	70,506	73,511
	人件費合計	19,429,000	16,545,000	19,429,000	14,967,000	19,429,000	19,429,000	0	0	0
事業にか かるコスト	運営委託費	0	0	0	0	0	0	12,175,504	12,189,804	12,136,952
	事業にかかるコスト	19,429,000	16,545,000	19,429,000	14,967,000	19,429,000	19,429,000	12,175,504	12,189,804	12,136,952
現金収支を伴うコスト 計		20,944,103	17,171,387	24,001,901	18,628,286	20,273,595	20,084,462	13,793,859	12,260,310	12,210,463
【収入の部】										
収入 使用料収入		3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	1,157,168	1,157,168	1,157,168
収入の合計		3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	1,157,168	1,157,168	1,157,168
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		486,464	357,950	0	0	320,133	209,067	2,495,944	1,093,072	2,121,700
III. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		21,430,567	17,529,337	24,001,901	18,628,286	20,593,728	20,293,529	16,289,803	13,353,382	14,332,163

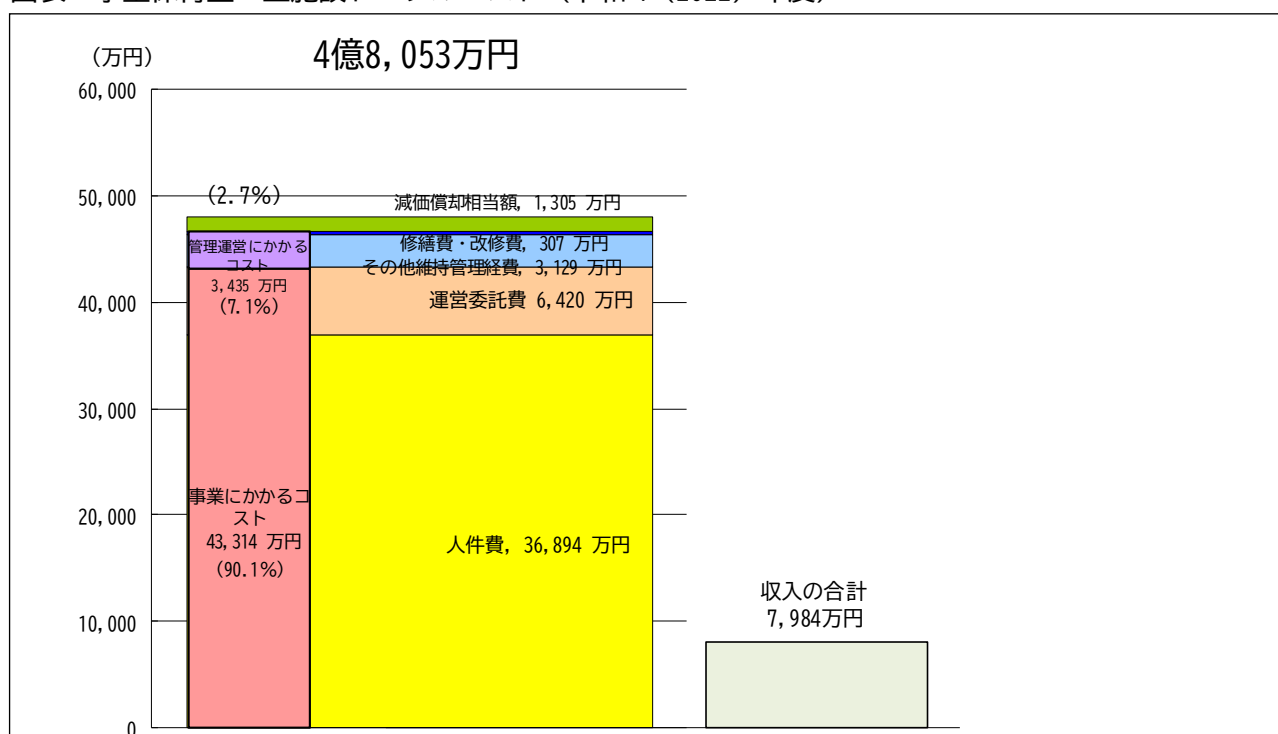
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		高倉学童保育室	黒須学童保育室	東金子学童保育室	新久学童保育室	金子学童保育室	金子第二学童保育室	宮寺学童保育室	狭山学童保育室	藤沢学童保育室
かかるコスト 管理運営にか かるコスト	修繕費	0	62,580	41,800	41,580	210,760	5,280	0	12,650	1,242,000
	改修費	0	341,000	0	0	0	0	0	0	73,700
	光熱水費	9,479	419,068	104,496	0	373,495	421,804	0	388,156	334,836
	委託費	815,530	12,530	782,530	12,530	12,530	12,530	12,530	12,530	12,530
	使用料及び賃借料	76,718	91,776	76,718	76,718	76,718	85,958	76,718	76,718	85,671
	その他物件費	446,355	866,749	567,134	471,616	0	0	396,791	853,838	4,085,886
	管理運営にかかるコスト	1,348,082	1,827,209	1,572,678	602,444	702,196	566,461	510,902	1,373,972	5,834,623
	人件費合計	21,007,000	28,626,000	19,429,000	16,545,000	0	0	19,429,000	18,122,000	19,429,000
事業にか かるコスト	運営委託費	0	0	0	0	13,850,000	13,850,000	0	0	0
	事業にかかるコスト	21,007,000	28,626,000	19,429,000	16,545,000	13,850,000	13,850,000	19,429,000	18,122,000	19,429,000
現金収支を伴うコスト 計		22,355,082	30,453,209	21,001,678	17,147,444	14,552,196	14,416,461	19,939,902	19,495,972	25,263,623
【収入の部】										
収入 使用料収入		3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504
収入の合計		3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト 減価償却相当額		0	0	0	442,224	0	745,200	283,500	0	0
III. 総括										
コストの部合計（トータルコスト）		22,355,082	30,453,209	21,001,678	17,589,668	14,552,196	15,161,661	20,223,402	19,495,972	25,263,623

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		藤沢南学童保育室	藤沢南第二学童保育室	藤沢東学童保育室	藤沢東第二学童保育室	西武学童保育室	西武第二学童保育室	仏子学童保育室	合計
かかるコスト 管理運営にか かるコスト	修繕費	0	0	0	0	0	16,500	41,800	1,945,924
	改修費	0	0	0	89,760	0	0	615,230	1,119,690
	光熱水費	429,031	0	0	0	406,444	0	388,216	4,505,258
	委託費	12,530	12,530	12,530	12,530	12,530	12,530	12,530	3,434,190
	使用料及び賃借料	76,718	76,718	76,718	0	95,631	76,718	0	1,696,962
	その他物件費	288,361	1,257,308	368,916	363,349	496,969	508,827	512,423	21,389,965
	管理運営にかかるコスト	839,891	1,346,556	458,164	465,639	1,045,102	614,575	1,604,255	34,350,855
	人件費合計	16,545,000	16,545,000	16,545,000	16,545,000	16,545,000	14,967,000	19,429,000	368,936,000
事業にか かるコスト	運営委託費	0	0	0	0	0	0	0	64,202,260
	事業にかかるコスト	16,545,000	16,545,000	16,545,000	16,545,000	16,545,000	14,967,000	19,429,000	433,138,260
現金収支を伴うコスト 計		17,384,891	17,891,556	17,003,164	17,010,639	17,590,102	15,581,575	21,033,255	467,489,115
【収入の部】									
収入 使用料収入		3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	79,844,592
収入の合計		3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	3,471,504	79,844,592
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト 減価償却相当額		1,411,281	1,348,659	395,911	320,489	506,898	506,898	0	13,045,390
III. 総括									
コストの部合計（トータルコスト）		18,796,172	19,240,215	17,399,075	17,331,128	18,097,000	16,088,473	21,033,255	480,534,505

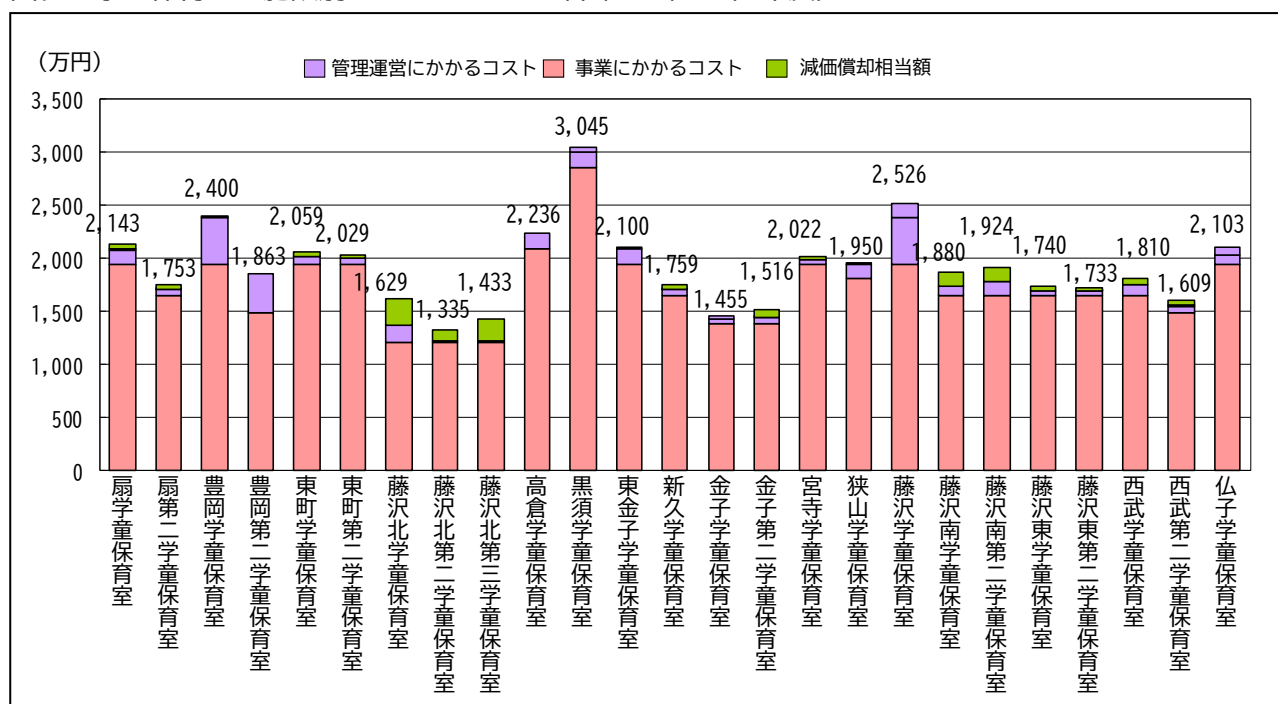
※ 豊岡学童保育室、高倉学童保育室、東金子学童保育室、藤沢北学童保育室の学童保育室解体工事費は除く。

施設別トータルコストでは、藤沢北第二学童保育室の約 1,300 万円から黒須学童保育室の約 3,000 万円までとなっています。

図表 学童保育室 全施設トータルコスト（令和 4（2022）年度）



図表 学童保育室 施設別トータルコスト（令和 4（2022）年度）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 入室児童数の推移をみると、平成 24（2012）年度から令和 5（2023）年度まで増加傾向が続いています。
- ② 令和 5（2023）年度の待機児童が 83 人と、前年度と比較して約 4 倍となっています。
- ③ 施設別の入室状況をみると、25 施設中 18 施設が定員未満となっている一方で定員を超える施設が 2 施設あります。

<コスト状況>

- ④ 学童保育室のトータルコスト 4 億 8,053 万円のうち 90%が事業にかかるコストとなっています。
- ⑤ 施設別トータルコストでは、約 1,300 万円から約 3,000 万円程度となっています。

3) 課題の明確化

- 小学校校舎内に複合化した施設もあるものの、単独で建築されている施設の多くは、木造や鉄骨造で老朽化が進んでいます。また、学校の敷地外(隔地)に設置されている施設は、交通事故や不審者の心配がないよう、学童保育室へ通室する時の安全性を確保する必要があります。
- 児童数の減少に伴い小学校の教室に空き（余裕）が生じることが予測されることから、将来的には、これらの教室を活用した配置を積極的に考えていく必要があります。

(15) 児童センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、児童センターを保有しています。児童センターの管理運営は平成 30（2018）年度より指定管理者に委託しています。

設置目的：子どもたちに、遊びや科学の学習を通して生活体験の場を提供し、人間性豊かな、心身ともに健康な児童の育成を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
豊岡 第二	1 児童センター	向陽台1-1-6	3,863.65	昭和62	RC造	市	

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す（令和 6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

天体観測室、プラネタリウム室、おもちゃ図書館、集会室等を設置し、運動系、科学系や図工系などの教室・クラブの活動、講座（主催イベント）の開催、施設の提供を行っています。

プラネタリウムは平日午後 3 時から、土・日は午前 11 時と午後 3 時から投影します。土・日・祝日の午後 1 時 30 分からはドームシアターによる上映会を実施しています。

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前 9 時～午後 6 時	毎週月曜日と年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)	307 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

どなたでも自由に来館して施設を利用することができます。

■ 使用料金

入館は基本無料となっており、プラネタリウム観覧料として、子ども（小・中・高生）は 50 円、大人 100 円を徴収しています。なお、学習活動・保育活動での利用や、障害者手帳をお持ちの方などの利用は無料です。

⑤ 配置状況

図表 児童センター位置図

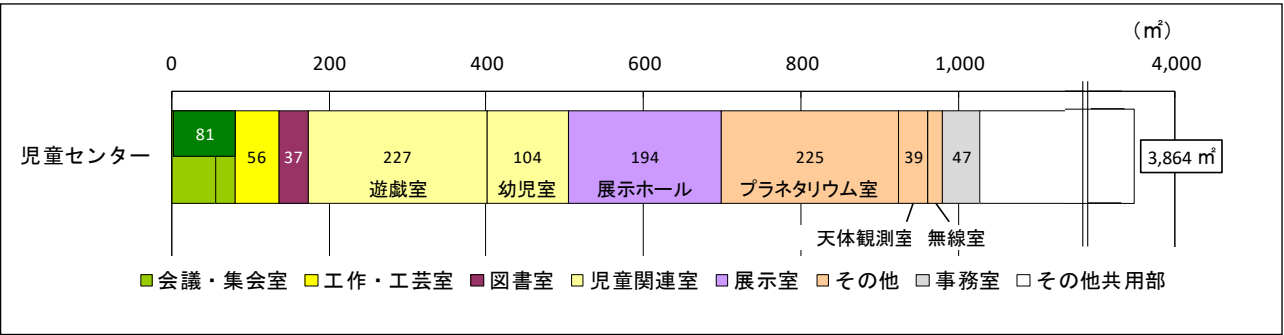


⑥ スペース構成

児童センターは3,864㎡となっています。

児童センターではプラネタリウム室・天体観測室・展示ホール等を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として集会室・研修室、その他に幼児室・遊戯室・無線室・工作室・図書室等を保有しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 利用状況

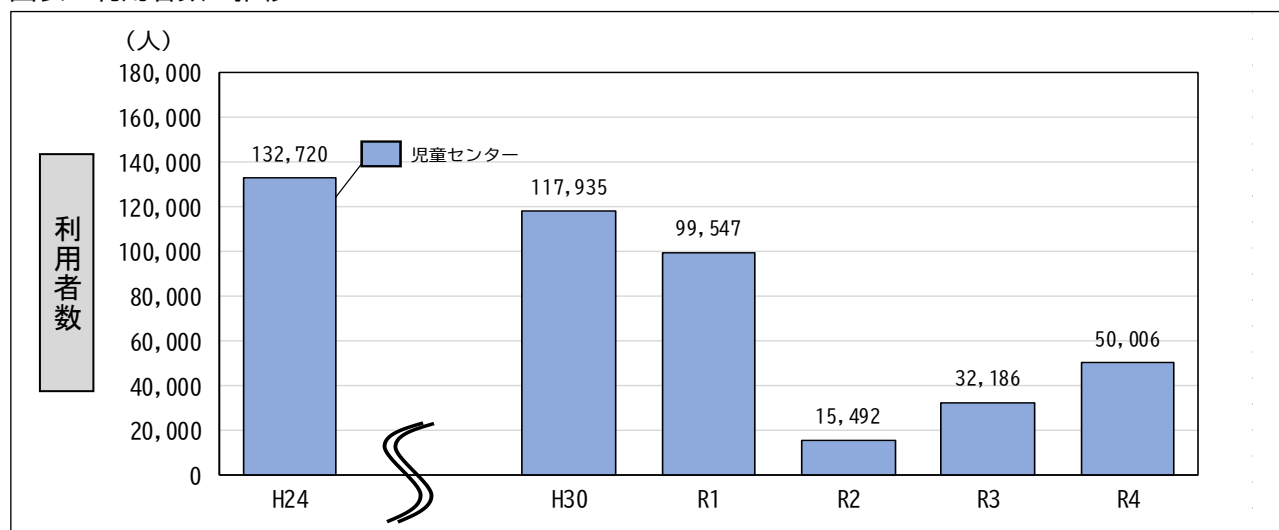
■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 24（2012）年度の 13 万 2,720 人から令和元（2019）年度の 9 万 9,547 人と減少傾向にありました。令和 2（2020）年度に 1 万 5,492 人まで大きく減少した後、令和 3（2021）年度は 3 万 2,186 人、令和 4（2022）年度は 5 万 6 人と回復していますが、平成 24（2012）年度の約 4 割程度の利用となっています。

プラネタリウムの利用者数は、令和元（2019）年度の 9,298 人から令和 2（2020）年度の 1,932 人へ大きく減少しましたが、その後増加傾向に転じて、令和 4（2022）年度は 8,440 人となっています。

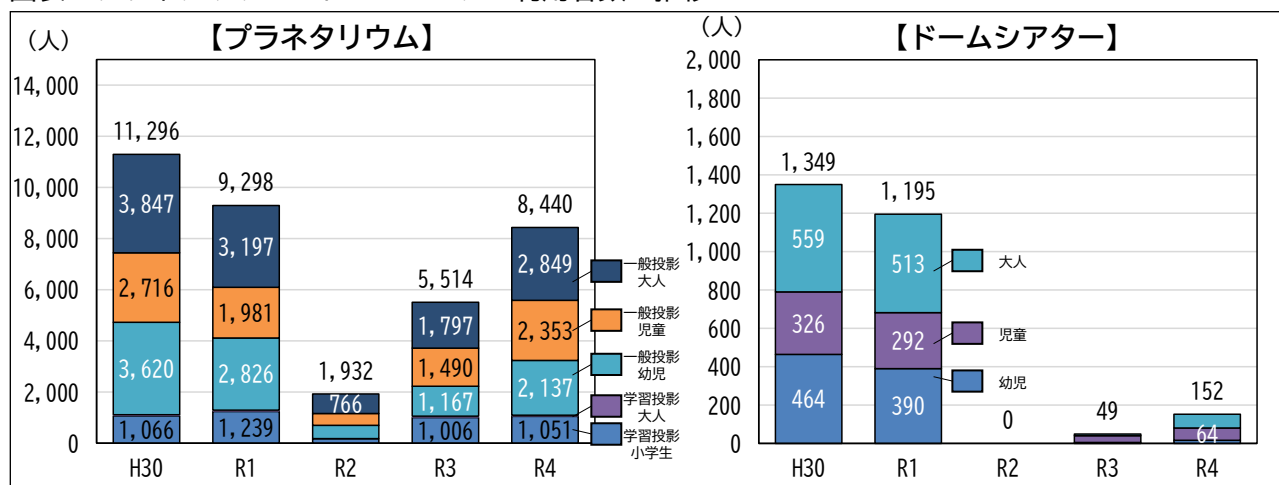
ドームシアターの利用者数は、令和 2（2020）年度の新型コロナウイルスの影響以降、低迷しており、令和元（2019）年度は 1,000 人以上の利用がありましたが、令和 4（2022）年度は 152 人となっています。特に、幼児の利用が減少しています。

図表 利用者数の推移



※令和 2（2020）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。 出典：入間市統計書（H30～R4）
前回白書（H24）

図表 プラネタリウム・ドームシアター利用者数の推移



出典：入間市統計書

② コスト情報

児童センターの年間トータルコストは、8,952 万円で、平成 24（2012）年度より約 5%減少しています。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 626 万円（7%）、指定管理委託料は 6,467 万円（72%）、減価償却相当額は 1,860 万円（21%）です。

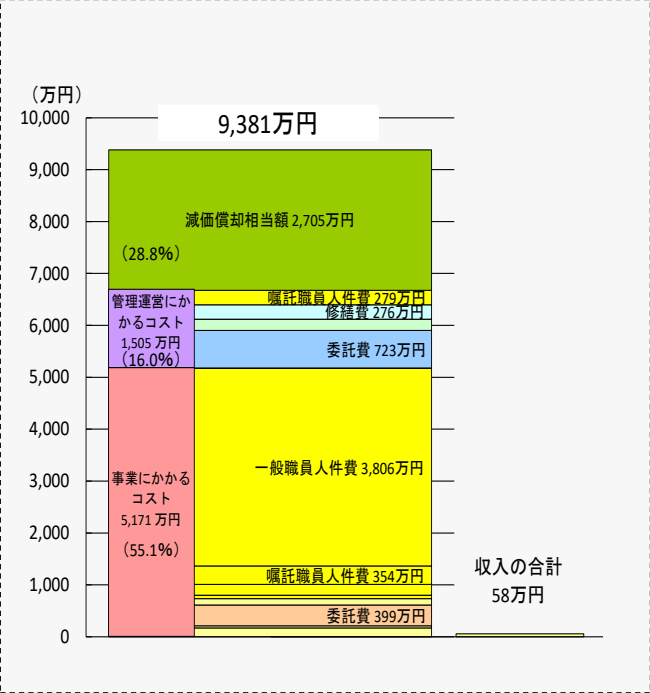
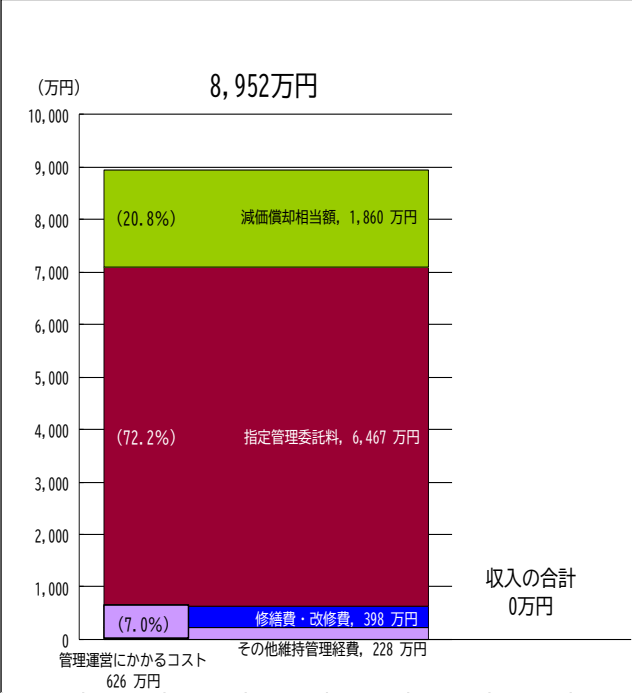
図表 行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
かかるコスト	管理運営にかかるコスト	児童センター
	修繕費	3,982,737
	委託費	1,870,000
	その他物件費	409,463
	管理運営にかかるコスト	6,262,200
指定管理委託料		64,665,338
現金収支を伴うコスト 計		70,927,538
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	18,595,600
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		89,523,138

【参考】 前回白書【平成 24（2012）年度】

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
かかるコスト	管理運営にかかるコスト	児童センター
	嘱託職員人件費	2,785,200
	修繕費	2,761,920
	光熱水費	2,168,695
	委託費	7,234,668
	その他物件費	98,082
管理運営にかかるコスト		15,048,565
事業にかかるコスト	一般職員人件費	38,061,035
	嘱託職員人件費	3,538,750
	臨時職員人件費	2,118,960
	その他人件費	618,130
	修繕費	1,254,750
	委託費	3,990,000
	使用料及び賃借料	414,156
	その他物件費	1,709,874
	事業にかかるコスト	51,705,655
現金収支を伴うコスト 計		66,754,220
【収入の部】		
収入	使用料収入	578,460
収入の合計		578,460
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	27,051,715
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		93,805,935
収支差額(ネットコスト)		93,227,475

図表 児童センター トータルコスト（令和 4（2022）年度） 【参考】 前回白書（平成 24（2012）年度）



※玄関ポーチ等改修工事費を抜く。

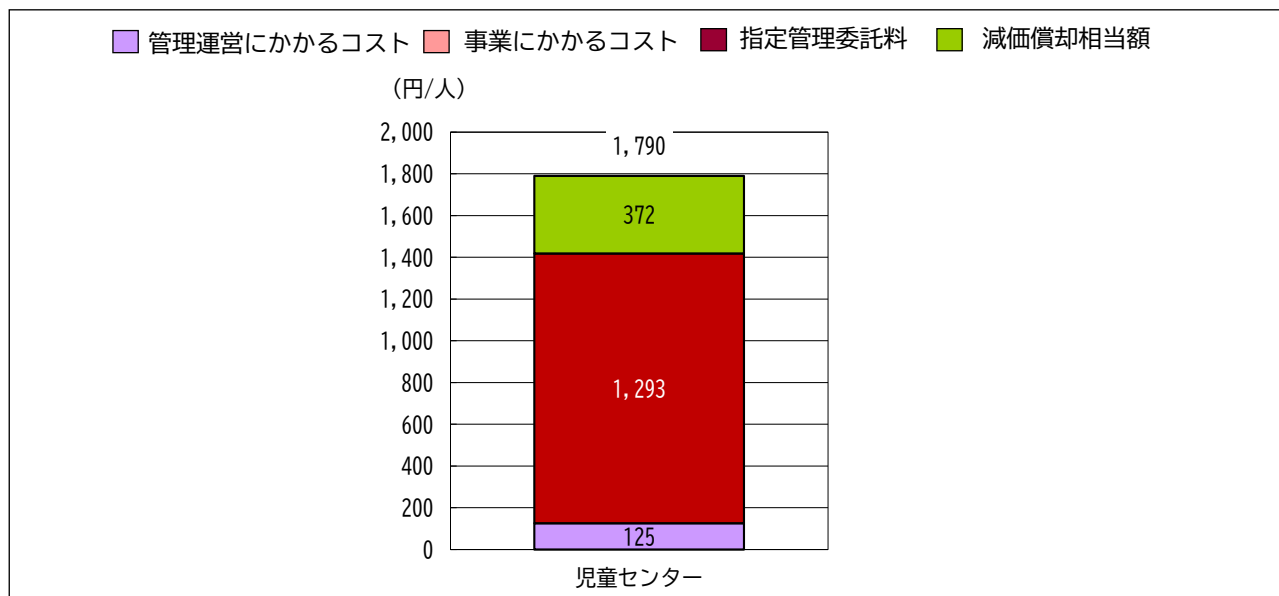
3) 分析

■ 利用者 1 人当たりのコスト

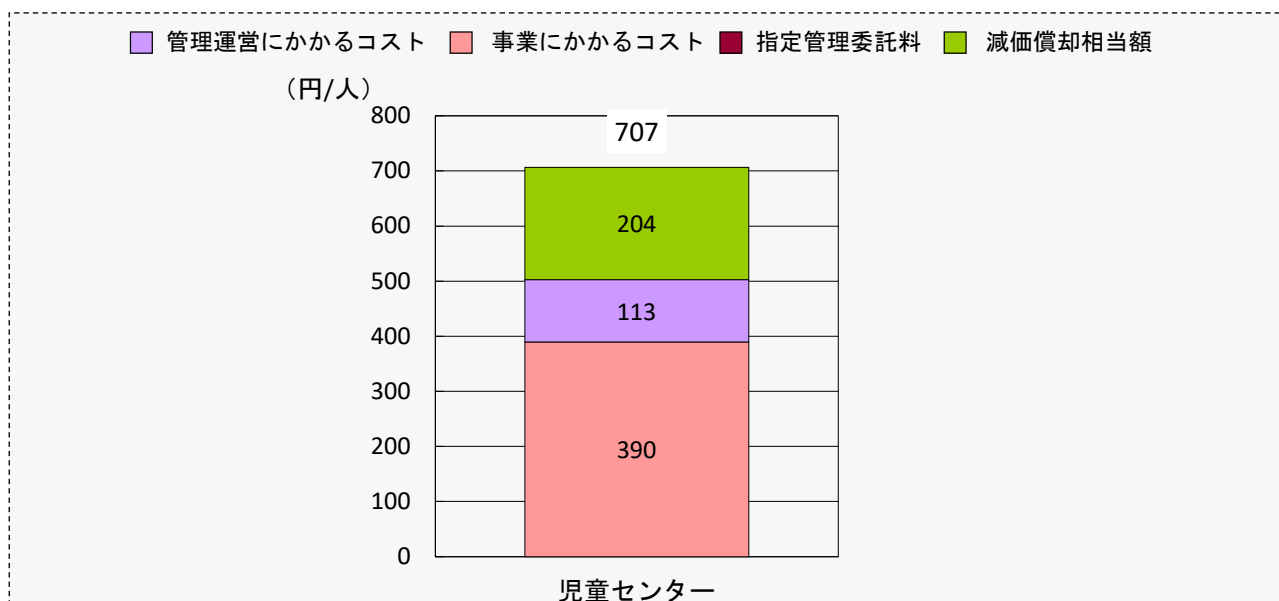
年間利用者数とトータルコストから、利用 1 人当たりにかかるコストを算出すると、1,790 円/人となっています。

平成 24（2012）年度と比較して、トータルコストは若干減少していますが、利用者数が減少したことにより、利用者 1 人当たりのコストは約 1,000 円増加しています。

図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（平成 24（2012）年度）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用者数は、令和 2（2020）年度の新型コロナウイルスの影響で大きく減少しました。令和 3（2021）年度、令和 4（2024）年度と増加傾向となっていますが、新型コロナウイルス影響前の水準まで回復していません。

<コスト状況>

- ② 児童センターのトータルコスト 8,952 万円のうち 72%が指定管理委託料となっています。
- ③ 平成 24（2012）年度と比較するとトータルコストは若干減少していますが、利用者数の減少により 1 人当たりのトータルコストは増加しています。

4) 課題の明確化

- 施設が老朽化していることから、今後は更にコストがかかる可能性が考えられます。また、少子高齢化、利用対象者の拡大や地域ニーズの変化などの社会情勢の変化に対して柔軟に対応していく必要があります。
- 施設の老朽化状況を勘案しながら効果的・効率的な事業運営や機能維持、利用者のニーズに応じたサービスを再検討し、今後の施設機能の方向性、サービス・事業の規模を検討する必要性があります。

(16) 小学校・中学校

1) 施設概要

① 施設一覧

本市には、小学校 16 校、中学校 11 校の合計 27 校を保有しています。

設置目的：学校教育の内容や教育体制の充実、地域の人材・教材や文化等の活用、より良い教育環境の整備を図ることなどを通じて、豊かな人間性をもった子どもが育成できる社会、将来を担う子どもたちが生きる力を育み、生き生きと成長できる社会を実現することを目的とする

図表 小学校 施設一覧

(令和 6 (2024) 年 5 月 1 日現在)

	地区		名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)		建築 年度 (年度)	築年数 (年)	構造 (主たる 建物)	在籍者 数 (人)	通常 学級数 (学級)	特別支援 学級数 (学級)
						学校	合計						
						複合施設							
小学校	豊岡	第一	1 扇小学校	久保稻荷4-1195-2	22,061.00	7,044.06		昭和51	48	RC造	756	23	4
		第二	2 豊岡小学校	向陽台1-1-14	28,005.54	7,346.30	7,537.55	昭和58	41	RC造	353	12	2
			191.25										
			3 東町小学校	向陽台2-1009-3	28,000.00	7,130.54	7,373.54	昭和55	44	RC造	459	15	2
			243.00										
		4 藤沢北小学校	東町7-1-19	19,499.00	6,047.69		昭和56	43	RC造	682	21	3	
		第三	5 黒須小学校	春日町2-14-60	13,248.00	6,508.80		昭和47	52	RC造	442	15	2
			6 高倉小学校	高倉4-14-7	19,637.00	6,062.24	6,255.24	昭和61	38	RC造	237	9	2
		193.00											
		東金子	7 東金子小学校	小谷田1524	23,192.00	6,308.78	6,428.97	昭和43	56	RC造	279	12	2
	120.19												
	8 新久小学校		新久500	22,609.00	5,934.83	6,057.67	昭和55	44	RC造	261	10	3	
	122.84												
	金子	9 金子小学校	西三ツ木150	17,331.00	5,387.41		昭和41	58	RC造	333	12	3	
	宮寺・二本木	10 宮寺小学校	宮寺594-1	11,748.00	4,205.01	4,283.76	昭和43	56	RC造	223	8	3	
		78.75											
		11 狭山小学校	二本木65	22,041.00	5,072.55		昭和46	53	RC造	355	12	2	
	藤沢	第一	12 藤沢小学校	上藤沢384	21,611.00	6,990.68		昭和43	56	RC造	376	13	1
			13 藤沢南小学校	上藤沢52	21,320.00	6,123.13		昭和46	53	RC造	342	13	2
		第二	14 藤沢東小学校	東藤沢7-9-1	18,085.00	6,407.40	6,606.40	昭和52	47	RC造	501	17	2
			199.00										
	西武	15 西武小学校	野田512	20,169.80	6,238.71		昭和41	58	RC造	609	20	2	
		16 仏子小学校	仏子165	22,863.00	6,564.75		昭和55	44	RC造	248	10	2	
小学校合計					331,420.34	100,520.91					6,456	222	37

※在籍者数：特別支援学級も含む

：建築年度のピンクハッチは、老朽化（築 40 年以上）を示す

出典：「延床面積」 令和 4 (2022) 年度固定資産台帳

小学校・中学校ともに耐震化対応工事は平成 27（2015）年度をもって完了しましたが、小学校はほぼ全て、中学校も半分以上の施設が築年数 40 年を超えています。最長で築 60 年の施設（藤沢中学校）もあります。老朽化が進行しており、長寿命化改修や建替えなどの検討が必要な状況です。

図表 中学校 施設一覧

(令和 6（2024）年 5 月 1 日現在)

地区		名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	築年数 (年)	構造 (主たる 建物)	在籍者 数 (人)	通常学級 数 (学級)	特別支援 学級数 (学級)	
中学校	豊岡	第一	1 向原中学校	久保稲荷3-34-1	29,461.00	6,639.25	昭和54	45	RC造	452	12	2
		第二	2 豊岡中学校	向陽台2-1-20	27,824.00	9,694.38	昭和61	38	RC造	273	8	3
			3 東町中学校	向陽台2-1-22	28,010.00	7,672.67	昭和62	37	RC造	199	6	0
		第三	4 黒須中学校	鍵山3-13-17	29,294.00	6,051.93	昭和56	43	RC造	247	8	2
	東金子	5 東金子中学校	小谷田451-1	27,871.00	7,260.70	昭和57	42	RC造	255	8	2	
	金子	6 金子中学校	西三ツ木187	23,954.00	7,189.24	昭和60	39	RC造	171	6	2	
	宮寺・二本木	7 武蔵中学校	宮寺3193	30,318.00	5,984.13	平成25	11	RC造	295	9	2	
	第一	8 上藤沢中学校	上藤沢146-2	26,941.00	7,333.61	昭和58	41	RC造	391	12	0	
		9 藤沢中学校	下藤沢1263-1	25,251.00	7,294.77	昭和39	60	RC造	558	15	3	
	西武	10 西武中学校	仏子960-1	31,652.00	6,762.62	昭和44	55	RC造	131	4	2	
		11 野田中学校	野田1741	29,053.00	8,094.12	平成元	35	RC造	341	9	0	
中学校合計				309,629.00	79,977.42				3,313	97	18	

※在籍者数：特別支援学級も含む

：建築年度のピンクハッチは、老朽化（築 40 年以上）を示す

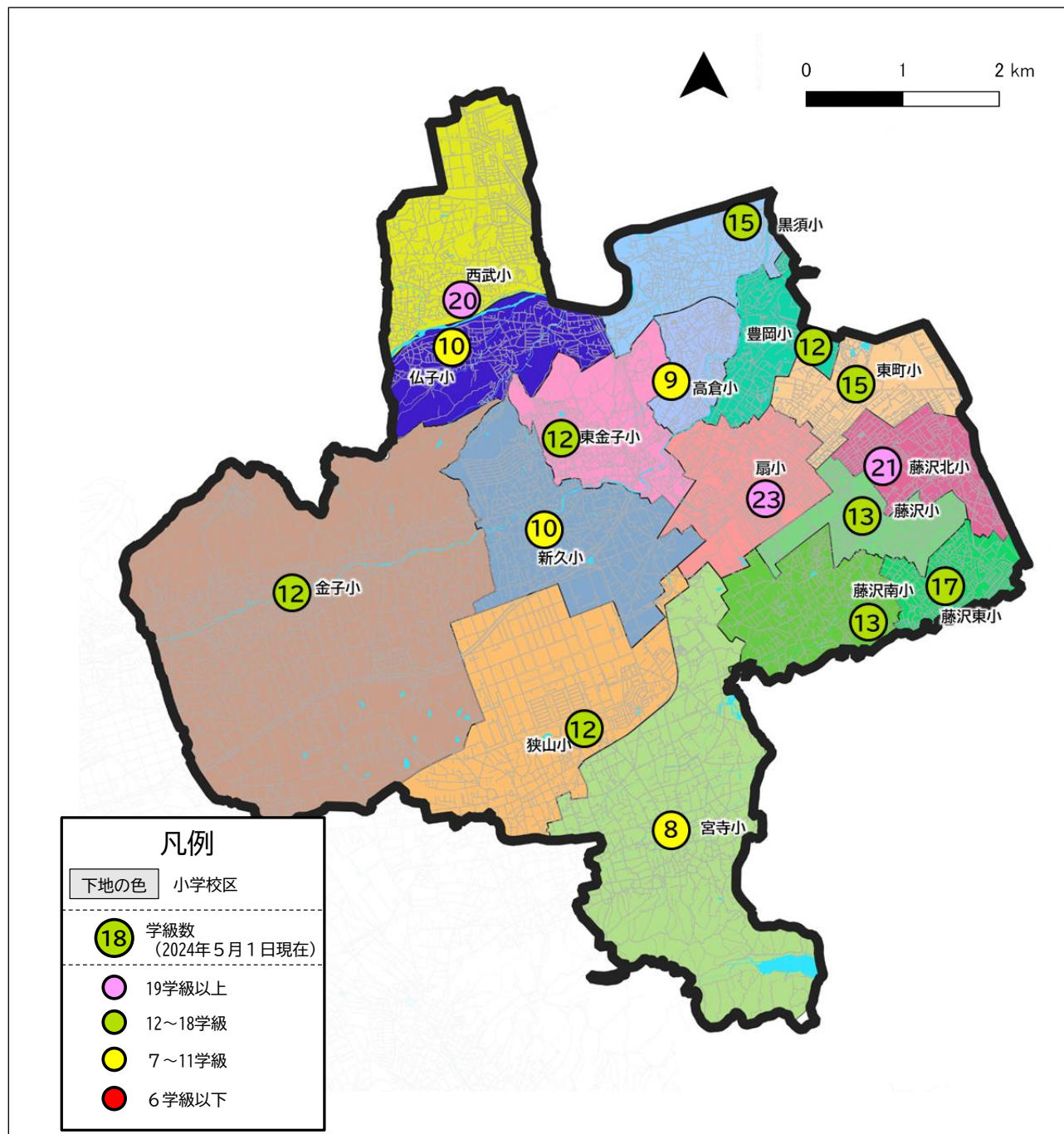
出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

② 配置状況

小学校は、地区ごとに1校から2校配置されています。

本市では小学校で各学年2から3学級（全学年合計12学級から18学級）、中学校は全教科必要教員が確保される全学年10から18学級を小・中学校の適正規模としています。19学級以上の大規模校と11学級以下の小規模校も混在しています。現在、小学校は大規模校が3校、小規模校が4校あります。

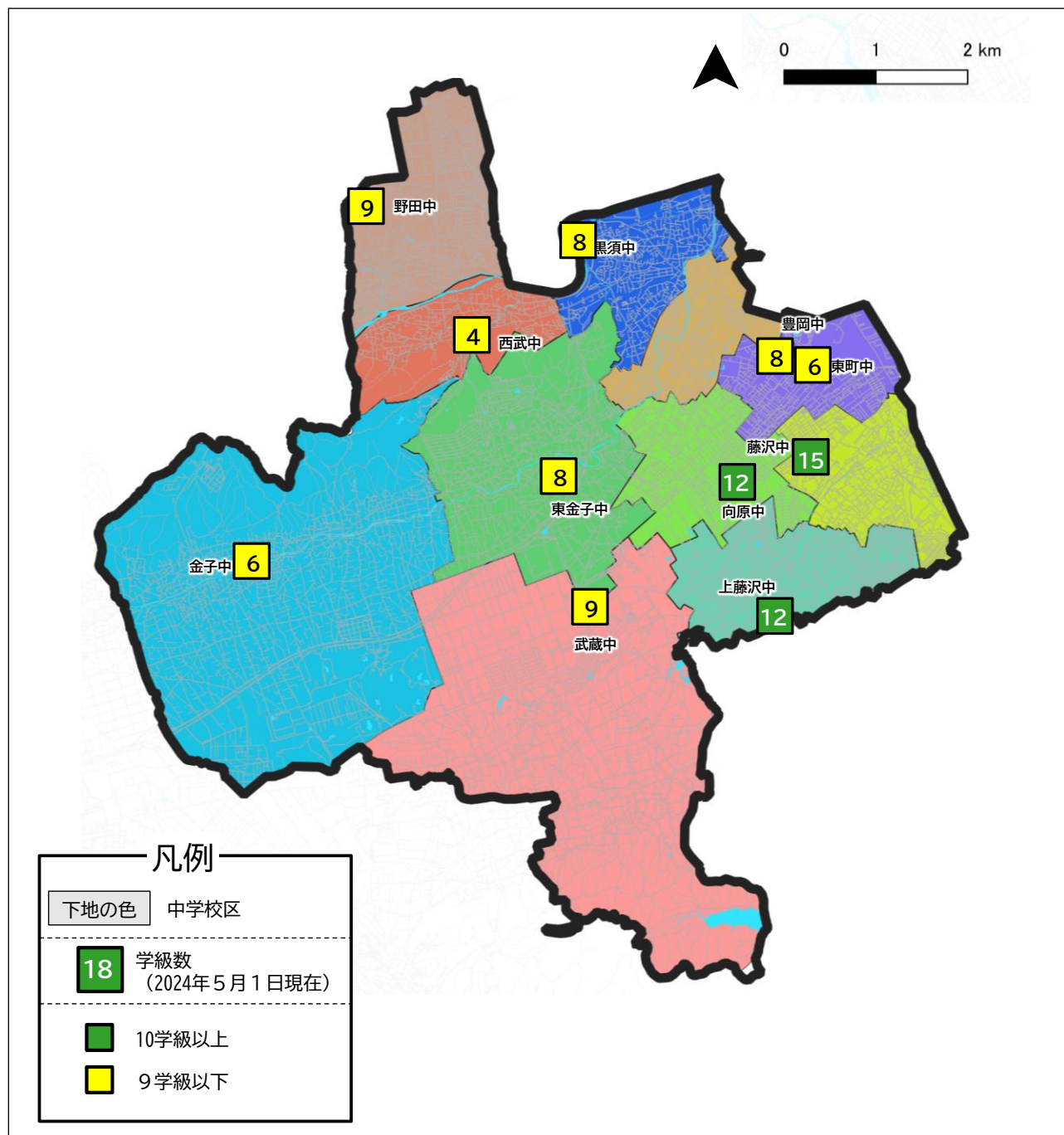
図表 小学校の配置状況（令和6（2024）年5月1日現在）



中学校は、1地区ごとに1校から2校配置されています。

大規模校はなく、適正規模校が3校、小規模校が8校となっています。

図表 中学校の配置状況（令和6（2024）年5月1日現在）

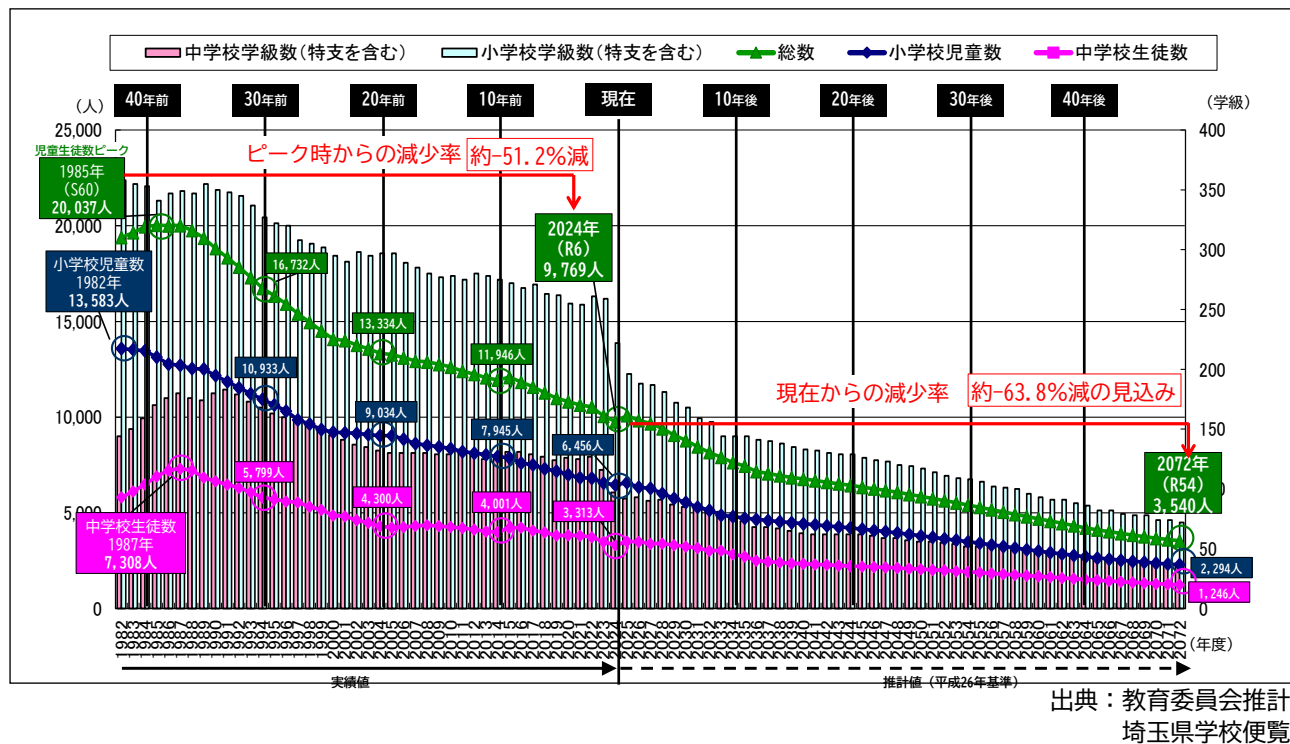


2) 実態把握

① 児童生徒数及び学級数の状況

児童生徒数及び学級数の推移をみると、小・中学校の児童生徒数は、昭和 60（1985）年度の 2 万 37 人をピークに現在まで減少が続いており、令和 6（2024）年度では、9,769 人とピーク時の約 51%の減少となっています。今後も児童生徒数は減少が見込まれ、令和 54（2072）年度は 3,540 人、現在から約 64%減少する予測となっています。

図表 児童生徒数の推移



1校当たりの通常学級数の平均学級数をみると、昭和 60（1985）年度で小学校 20.4 学級、中学校 15.2 学級であったのに対し、令和 6（2024）年度では、小学校 13.9 学級、中学校 8.8 学級となっています。小学校で 7 校、中学校で 3 校が平均学級数以下となっています。

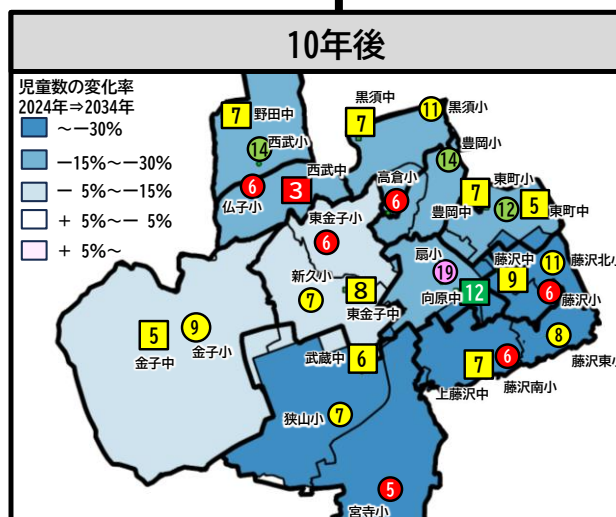
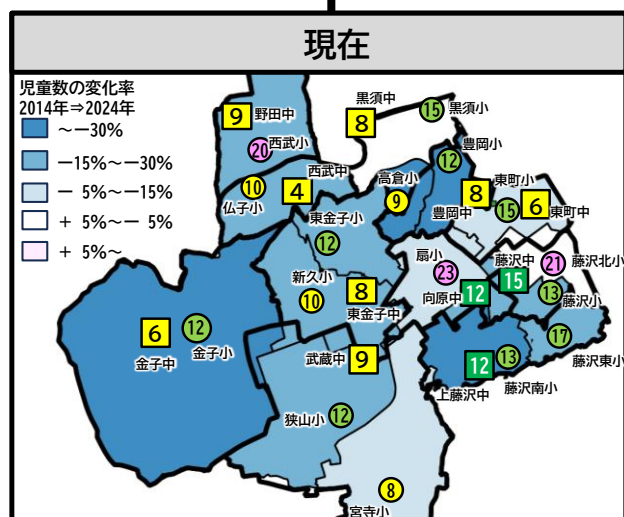
図表 学級数の状況（令和6（2024）年5月1日）

小 学 校					中 学 校				
(学級)					(学級)				
学校名					学校名				
26					23				
25					22				
24					21				
23	扇				20				
22					19				
21	藤沢北				18				
20	西武				17				
19					16				
18					15	藤沢			
17	藤沢東				14				
16					13				
15	黒須	東町	高倉		12	向原	上藤沢		
14					11				
13	藤沢	藤沢南			10				
12	豊岡	新久	狭山		9	武蔵	野中		
11					8	豊岡	黒須	東金子	
10	金子	仏子			7				
9	東金子				6	東町	金子		
8	宮寺				5				
7					4	西武			
6					3				

現在3校ある大規模の小学校は、10年後に1校に減少、12校ある小規模の小・中学校は22校に増加することが見込まれています。このうち小学校6校、中学校1校は全学年1学級となる予測であり、中学校は11校中10校が9学級以下（小規模）となる予測です。20年後はさらに減少が進行し、3小学校を除く全ての小・中学校で小規模校となる予測です。

図表 学校別児童生徒数・学級数の推移

学校名	現在										10年後
	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034
向原中学校	452	505	508	500	505	508	505	495	476	474	445
扇小学校	12	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12
豊岡中学校	756	870	855	852	818	779	752	719	690	658	646
豊岡小学校	23	25	25	25	24	23	22	21	20	19	19
東町中学校	273	305	307	302	305	307	305	299	288	286	269
東町小学校	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7
黒須中学校	353	406	400	398	382	364	351	336	322	307	302
黒須小学校	12	12	17	17	17	16	16	15	15	14	14
高倉小学校	199	222	223	220	222	224	222	218	210	209	196
東金子中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5
東金子小学校	459	528	520	518	497	473	456	436	419	400	392
新久小学校	15	16	15	15	15	14	14	13	12	12	12
金子中学校	247	276	277	273	276	278	276	271	260	259	243
金子小学校	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
武蔵中学校	442	509	500	498	479	456	439	420	403	385	378
狭山小学校	15	15	15	15	14	14	13	12	12	11	11
宮寺小学校	237	273	268	267	257	244	236	225	216	206	203
上藤沢中学校	9	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6
藤沢東小学校	255	311	322	326	332	323	329	334	328	329	307
藤沢南小学校	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8
藤沢北小学校	279	351	343	345	338	327	308	293	283	260	253
西武中学校	12	11	8	8	7	7	7	6	6	6	6
狭山中学校	261	329	321	323	316	306	288	275	264	244	237
宮寺中学校	10	10	10	10	10	9	9	8	8	7	7
上藤沢小学校	171	190	185	188	208	204	189	181	177	199	188
黒須小学校	6	5	5	5	6	6	5	5	5	5	5
扇中学校	333	379	372	379	361	357	357	344	338	311	306
扇小学校	12	11	11	11	11	11	10	10	10	9	9
東町中学校	295	274	287	294	284	279	259	260	222	228	207
東町小学校	9	7	8	8	8	7	7	7	6	6	6
黒須中学校	355	340	313	305	292	270	260	246	246	231	229
黒須小学校	12	10	9	9	9	8	8	8	8	7	7
高倉中学校	223	213	196	191	183	170	163	154	154	145	144
高倉小学校	8	7	6	6	6	5	5	5	5	5	5
東金子中学校	391	379	361	335	340	315	303	286	275	267	243
東金子小学校	12	10	10	9	9	8	8	8	7	7	7
新久中学校	501	401	377	364	338	326	312	294	287	276	274
新久小学校	17	12	11	11	10	10	9	9	9	8	8
金子中学校	342	274	257	249	231	223	213	200	196	189	187
金子小学校	13	8	8	8	7	7	7	6	6	6	6
武蔵中学校	558	540	516	479	485	450	433	408	393	382	346
武蔵小学校	15	14	13	12	13	12	11	11	10	10	9
狭山中学校	376	301	283	274	254	245	234	220	215	207	206
狭山小学校	13	9	9	8	8	7	7	7	7	7	6
宮寺中学校	682	546	513	496	460	444	424	400	390	376	373
宮寺小学校	21	16	15	15	14	13	13	12	12	11	11
上藤沢中学校	131	140	140	130	122	117	116	113	108	110	108
上藤沢小学校	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
藤沢東中学校	248	248	237	238	233	223	218	213	208	198	194
藤沢東小学校	10	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6
藤沢南中学校	341	364	364	339	317	306	303	296	281	286	280
藤沢南小学校	9	10	10	9	8	8	8	8	8	8	7
西武中学校	609	610	583	585	571	549	535	523	510	485	477
西武小学校	20	18	17	17	17	16	16	15	15	14	14

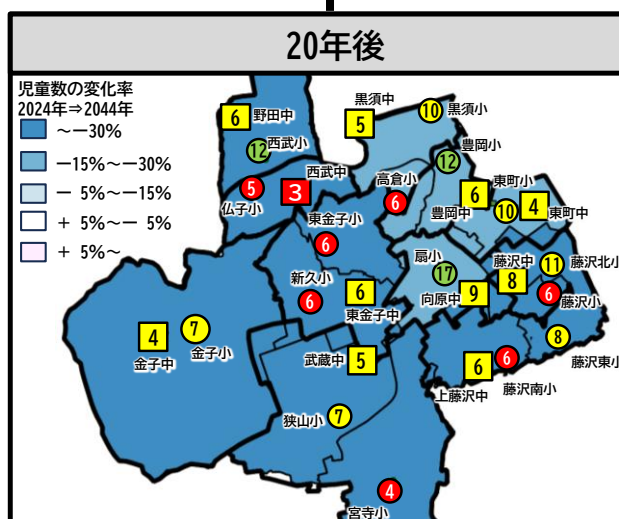


図表 学校別児童生徒数・学級数の推移

上段：児童生徒数
下段：通常学級数

小6学級以下 小：7学級～11学級 小：19学級以上
中3学級以下 中：4学級～9学級 中：19学級以上

学校名	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	20年後
	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044
向原中学校	420	389	381	373	367	362	357	351	346	341
扇小学校	11	10	10	10	10	10	9	9	9	9
豊岡中学校	635	625	616	607	598	592	584	576	570	564
豊岡小学校	19	18	18	18	18	17	17	17	17	17
東町中学校	254	235	230	225	222	219	215	212	209	206
東町小学校	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
黒須中学校	297	292	288	283	279	276	273	269	266	263
黒須小学校	14	14	13	13	13	13	13	12	12	12
高倉小学校	185	171	168	164	162	159	157	155	152	150
東金子中学校	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4
東金子小学校	386	380	374	369	363	359	355	350	346	342
新久小学校	12	11	11	11	11	11	11	10	10	10
金子中学校	229	213	208	204	201	198	195	192	189	186
金子小学校	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5
武蔵中学校	371	366	360	355	350	346	341	337	333	330
武蔵小学校	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10
狭山小学校	199	196	193	190	188	186	183	181	179	177
宮寺小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
上藤沢中学校	292	257	250	243	237	230	224	218	213	208
上藤沢小学校	8	7	7	7	6	6	6	6	6	6
藤沢中学校	246	240	234	227	221	215	209	204	198	193
藤沢小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
藤沢北小学校	231	224	219	213	207	201	196	190	186	180
藤沢南小学校	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
西武中学校	186	164	161	158	153	149	147	144	140	136
西武小学校	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
狭山中学校	298	290	283	277	271	261	255	248	239	235
狭山小学校	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7
宮寺中学校	210	190	187	183	181	180	180	180	180	177
宮寺小学校	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5
上藤沢中学校	227	227	225	223	222	220	219	219	217	215
上藤沢小学校	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
藤沢中学校	142	142	142	140	140	139	138	137	136	135
藤沢小学校	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
藤沢北小学校	235	220	217	215	213	212	213	213	213	212
藤沢南小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
扇小学校	273	272	272	272	272	272	272	271	270	269
扇中学校	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
東町小学校	186	186	186	185	185	186	185	185	185	184
東町中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
黒須小学校	336	315	310	306	303	302	303	304	303	302
黒須中学校	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8
黒須小学校	205	204	204	204	204	204	204	204	203	202
黒須中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
黒須小学校	372	370	370	370	370	370	370	369	368	367
黒須中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
黒須小学校	104	97	95	93	91	90	89	87	85	84
黒須中学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
黒須小学校	191	187	184	181	178	175	172	168	165	163
黒須中学校	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5
黒須小学校	272	252	246	241	236	234	230	226	223	217
黒須中学校	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
黒須小学校	469	460	452	444	437	430	422	414	406	399
黒須中学校	14	14	13	13	13	13	13	12	12	12



地図凡例

小学校 中学校

●：6学級以下 ●：3学級以下
●：7～11学級 ●：4～11学級
●：12～18学級 ●：12～18学級
●：19学級以上 ●：19学級以上

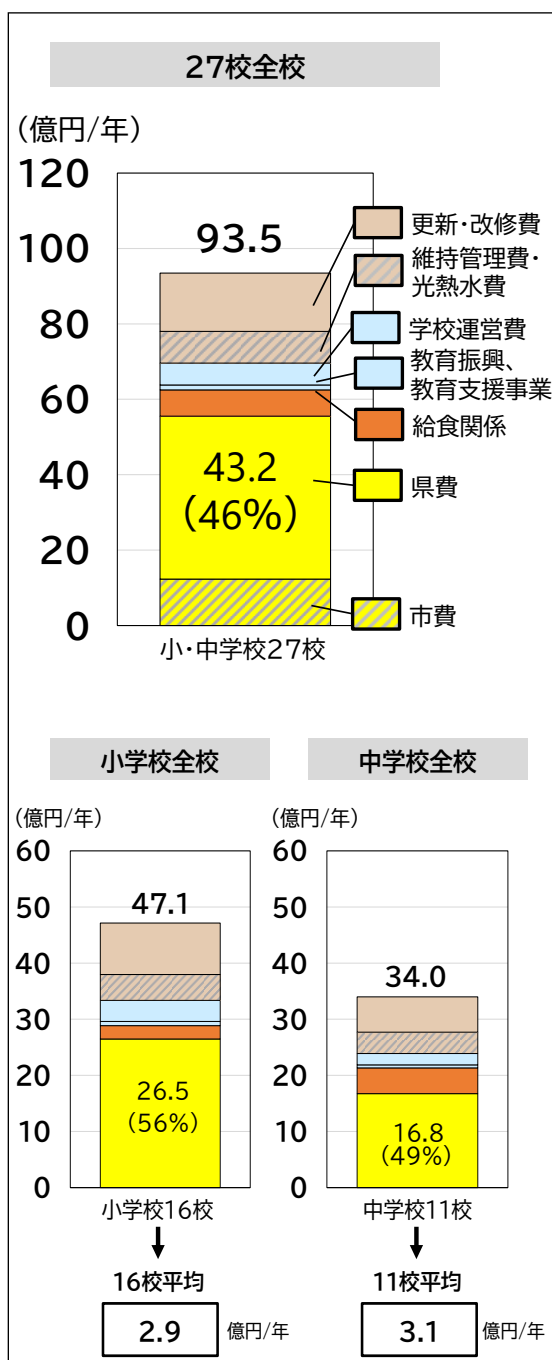
② コスト情報（学校に係る総コスト）

学校教育には、学校施設の更新・改修費（維持・更新コスト）のほかにも、施設に係るコストとして、保守点検などの維持管理費や光熱水費などがあります。そのほか、学校運営費や教育振興・教育支援事業などの教育活動に係るコスト、外国語教育推進事業などの新たな学習に係るコスト、給食に係るコストなど、さまざまなコストがかかっています。

県負担の教職員人件費を含めた学校に係る総コストは、小・中学校全 27 校で 93.5 億円／年で、小学校は 16 校平均 2.9 億円／年、中学校は 11 校平均 3.1 億円／年となっています。他の自治体で同様把握すると、1 校当たり平均 3～5 億円／年となっていることから、本市はおおむね平均並みと言えます。

図表 学校に係る総コスト（令和 5（2023）年度）

(大項目)		(事業名)	(費用内訳例)
施設面	更新・改修費	・年間総額(単年度平均) (「入間市学校施設長寿命化計画(令和3年3月)」に記載されている27校を今後も維持した場合の整備費用をもとに算出)	
	維持管理	・教育管理備品購入事業 ・施設整備事業 ・情報機器整備事業	・空調設備設置工事 ・外壁等改修工事 ・機械警備・清掃・保守点検業務 ・維持修繕料 等
管理運営面	学校運営費	・教育支援事業 ・小学校運営費 ・中学校運営費 ・放課後子ども教室事業費 ・子ども未来室事業 ・学校再整備・再配置事業 等	・事務費 ・不登校対策事業 ・発達障害児支援事業 等
	教育振興・教育支援	・教育教材購入事業 ・要保護及準要保護児童生徒援助費 ・特別支援教育就学奨励費 等	・就学援助費 ・通学補助金 等
新たな学習			
教職員	県費	校長、教頭、教諭(担任・特別支援・専科・養護・栄養・日本語)、非常勤、事務	※1人当たり年間平均給与(657万円)
	市費	栄養士、給食調理員 校務整備員	
給食関連		・学校給食センター管理運営費 ・自校給食運営費	・賄材料費 ・事務費 等
管理運営コストの合計		93.5 億円/年	



出典：令和 5（2023）年度決算書

■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① ピーク時（昭和 60（1985）年度 5 月 1 日現在）に 2 万人いた児童生徒数は、現在（令和 6（2024）年度 5 月 1 日現在）9,769 人と、ピーク時から 51%減少しています。
- ② 学級数をみると、特に中学校は 3 校を除き、現在すでに入間市の定める適正規模の基準以下となっており、今後も減少予測となっています。

<建物状況>

- ③ 小学校は、令和 6（2024）年度時点でほぼ全ての棟が築 40 年を超え老朽化が進行しています。また 16 校すべて、昭和 41（1966）年度から昭和 61（1986）年度の 20 年間に整備されており、最も古い棟では築 58 年が経過しています。
- ④ 中学校は、令和 6（2024）年度時点で 11 校中 10 校が築 35 年を経過しており、昭和 39（1964）年度から昭和 59（1984）年度に 6 校、昭和 60（1985）年度から平成 20（2008）年度に 4 校、平成 20（2008）年度以降に 1 校整備されています。
- ⑤ 武蔵中学校は、平成 25（2013）年度に校舎を更新、片廊下タイプから校舎内にホールを設けたタイプへと変化が見られ、延床面積が減少しています。
- ⑥ 金子中、武蔵中では、ソーラーパネルの設置や、エレベーターの整備、洋式トイレの整備、空調の整備等、設備関連で機能向上を図っています。
- ⑦ 今後はさらに「新しい時代の学習環境」として、ICT 機器の充実や多様な学びへの対応などが必要となっています。

<コスト状況>

- ⑧ 施設更新費及び人件費等を含めた学校に係る総コストでは、1 校当たり平均 3 億円程度かかっています。一般的に小規模になるとコストが割高になると指摘されており、小規模化が進むとコスト面でも課題となります。

4) 課題の明確化

- 小規模校化が進行する学校の再編に早期に取り組む必要があります。
- 学校施設は、市の保有資産の約 55%を占めるため、学校施設を地域の拠点として有効活用していくことが必要不可欠となっています。今後は、児童生徒数の減少による余裕スペースの対応、老朽化の対応を各学校の周辺の公共施設の状況を把握しながら、集約化・複合化を図り、学校の多機能化の検討や学校の再編を、着実に推進する必要があります。

(17) 学校給食センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、学校給食センターを1施設保有しています。学校給食センターの管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：安心、安全でおいしい給食を安定的に提供することにより、生徒の健康増進及び体力の向上を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
東金子	1 学校給食センター	新久129	2,042.96	昭和55	S造	市	

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延べ床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

本市の学校給食センターは、市内の公立中学校に通う生徒の給食を調理し、提供しています。

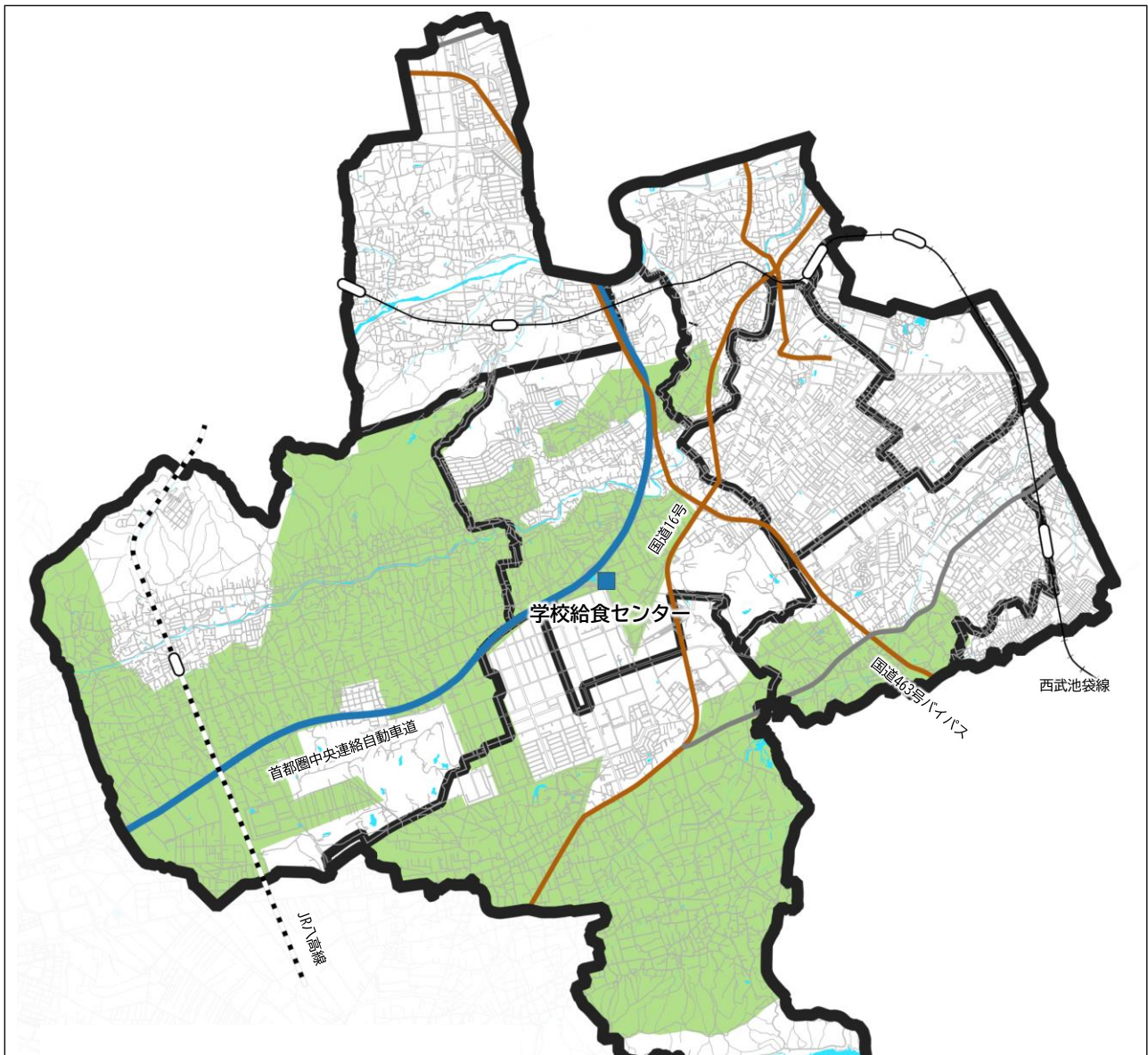
③ 開所時間・開所日数

開所時間	休所日	開所日数
平日午前8時30分～午後5時	土日・祝日・年末年始 (12月29日～1月3日)	243日

※開館日数は入間市施設カルテ令和4（2022）年度の利用関連情報

④ 配置状況

図表 学校給食センター位置図



2) 実態把握

■ コスト情報

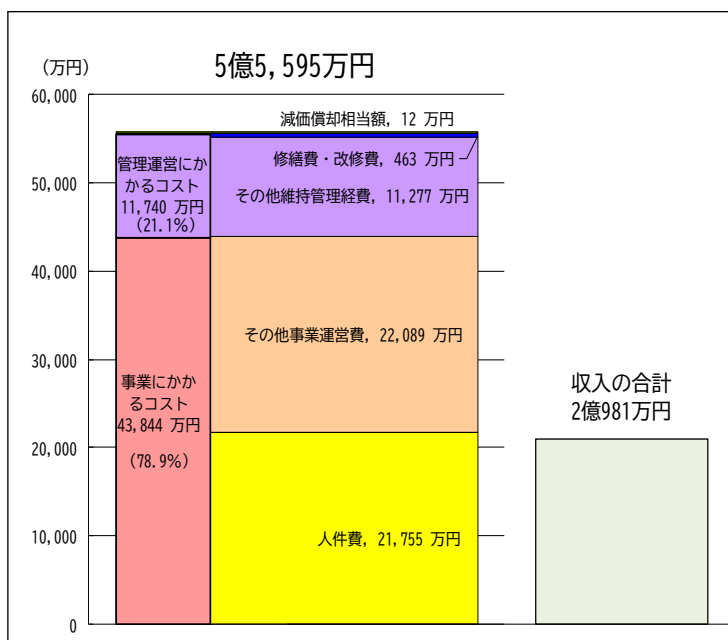
学校給食センターの年間トータルコストは、5億5,595万円です。平成24(2012)年度と比較して、約2億円増加しています。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは1億1,740万円(21%)、事業にかかるコストは4億3,844万円(79%)、減価償却相当額は12万円(0.02%)です。当該施設から年間2億981万円の収入があり、これには給食対象生徒から徴収する給食費が含まれています。

図表 行政コスト計算書(令和4(2022)年度)

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
管理運営にかかるコスト	修繕費	4,630,219
	光熱水費	28,003,489
	委託費	69,648,923
	使用料及び賃借料	14,987,153
	その他物件費	128,260
	管理運営にかかるコスト	117,398,044
事業にかかるコスト	人件費合計	217,552,000
	その他物件費	220,889,426
	事業にかかるコスト	438,441,426
現金収支を伴うコスト 計		555,839,470
【収入の部】		
収入	その他の収入等	209,813,336
収入の合計		209,813,336
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	115,203
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		555,954,673

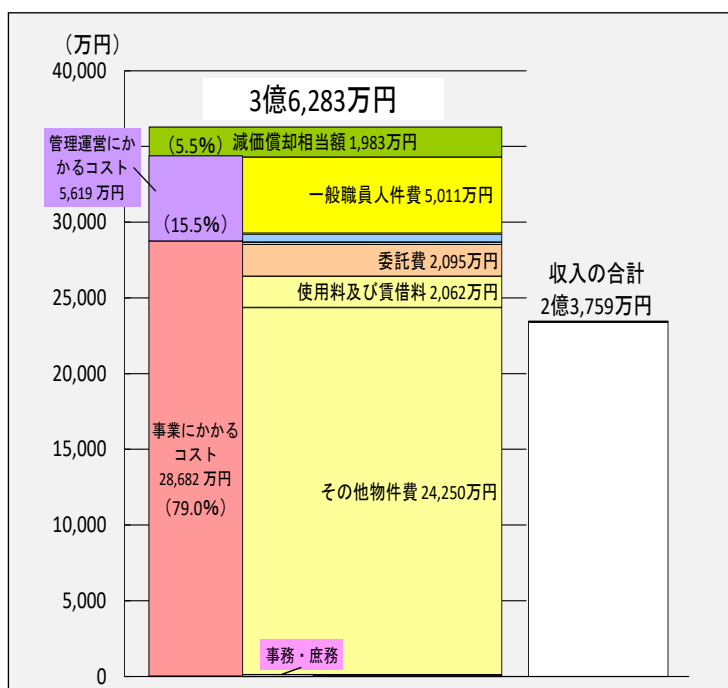
図表 トータルコスト(令和4(2022)年度)



【参考】 前回白書【平成24(2012)年度】

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	50,107,000
	修繕費	801,045
	委託費	5,195,425
	その他物件費	83,356
	管理運営にかかるコスト	56,186,826
事業活動にかかるコスト	修繕費	1,523,844
	委託費	20,951,280
	使用料及び賃借料	20,619,739
	負担金補助及び交付金	29,000
	その他物件費	242,495,340
	事業活動	285,619,203
	使用料及び賃借料	705,958
	その他物件費	492,150
	事務・庶務	1,198,108
	事業にかかるコスト	286,817,311
現金収支を伴うコスト 計		343,004,137
【収入の部】		
収入	学校給食センター対象校生徒用給食費	237,053,731
	使用料収入	11,390
	諸収入	528,460
収入の合計		237,593,581
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	19,828,729
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		362,832,866
収支差額(ネットコスト)		125,239,285

【参考】 前回白書【平成24(2012)年度】



■ 分析のまとめ

<コスト状況>

- ① 学校給食センターのトータルコスト 5 億 5,595 億円のうち 79%が事業にかかるコストになっている。平成 24 (2012) 年度と比較して約 2 億円増加しています。

3) 課題の明確化

- 学校給食センターは、経年による老朽化、学校給食衛生管理基準への適合、作業効率や施設の耐震性など早急に抜本的な対策を講じる必要性が高まっている状況です。
- 将来的に、現在のペースで人口減少や少子高齢化が進展すると、施設の遊休化が懸念されるため、将来を見据えた給食サービスの検討・見直しが必要となります。

(18) 市営住宅

1) 施設概要

① 団地一覧

本市では、市営住宅を 17 団地保有しています。市営住宅の管理運営は、埼玉県住宅供給公社に委託しています。

設置目的：住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で住宅を供給することで、市民の居住の安定を図ることを目的とする

市営住宅の規模は、42 戸の木造住宅と 314 戸の簡易耐火及び RC 造の団地となっています。

図表 施設一覧

地区		名称		所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	戸数	備考
豊岡	第一	1	中台団地	扇台2-5-21 他	93.19	昭和30	木造	2	
		2	本宿団地	扇町屋4-5-3 他	106.83	昭和31	木造	3	
		3	水窪団地	扇町屋5-12-22 他	86.94	昭和33	木造	3	
		4	南台団地	扇町屋1-7-17	1,227.48	昭和42 昭和43	簡易耐火造	30	
		5	霞台団地	扇町屋1-10-10	1,664.45	昭和57	RC造	24	
	第二	6	中原団地	東町1-9-15 他	411.84	昭和38	木造	13	
		7	霞川団地	豊岡2-9-7	929.20	昭和45	RC造	20	
		8	真土団地	豊岡2-5-3	3,666.87	平成4 平成7	RC造	48	
		9	富士見台団地	東町3-6-22	1,374.18	平成12	RC造	18	
	第三	10	秋津団地	鍵山3-7-8	170.73	昭和33	木造	4	
		11	竹ヶ谷団地	鍵山2-15-30 他	29.00	昭和35	木造	1	
東金子		12	上の台団地	大字小谷田87	199.75	昭和34 昭和35	木造	7	
		13	池ノ下団地	大字小谷田1390	6,706.53	昭和46、昭和47 昭和48、昭和50 昭和52、昭和54	RC造	118	
金子		14	加根古団地	大字寺竹577 他	267.43	昭和32 昭和33	木造	8	
		15	峯団地	大字南峯340	30.50	昭和36	木造	1	
宮寺・二本木		16	峠下団地	宮寺2805-4	1,091.96	昭和62	RC造	16	
西武		17	下河原団地	大字仏子1715-1	1,655.20	昭和44	RC造	40	
合計					19,712.08			356	

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す（令和 6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳
「戸数」第 2 次入間市市営住宅長寿化計画

② 配置状況

図表 市営住宅位置図



2) 実態把握

■ 第2次入間市市営住宅長寿命化計画について

平成28(2016)年8月に国土交通省住宅局から「公営住宅等長寿命化計画策定指針(改定)」が示され、現計画の計画期間が令和5(2023)年度で満了することから、本計画の改定をしました。

令和6(2024)年3月時点、17団地62棟356戸の市営住宅を管理しています。

市営住宅の供用期間、事業実施時期等の見通しを考慮し、概ね30年程度の長期的な管理の見通しは以下のとおりとなっています。

長期的な管理の見通し

団地名	棟数	戸数	建設年度		残耐用年数	計画期間内		計画期間後の考え方
						活用方針	内容	
中台	2	2	S30	1955	無	用途廃止	前計画による	—
本宿	3	3	S31	1956	無	用途廃止	耐用年数を経過して老朽化が著しい	—
秋津	4	4	S33	1958	無	用途廃止	前計画による	—
加根古	8	8	S32、33	1957、1958	無	用途廃止	耐用年数を経過して老朽化が著しい	—
水窪	3	3	S33	1958	無	用途廃止	前計画による	—
上の台	7	7	S34、35	1959、1960	無	用途廃止	耐用年数を経過して老朽化が著しい	—
竹ヶ谷	1	1	S35	1960	無	用途廃止	耐用年数を経過して老朽化が著しい	—
峯	1	1	S36	1961	無	用途廃止	前計画による	—
中原	13	13	S38	1963	無	用途廃止	前計画による	—
南台	5	30	S42、43	1967、1968	無	用途廃止	前計画による	—
下河原	2	40	S44	1969	16	用途廃止	洪水浸水想定区域(0.5m超)に指定されているため用途廃止	—
霞川	1	20	S45	1970	17	用途廃止	家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されているため用途廃止	—
池ノ下	6	118	S46、47、48、50、52、54	1971、1972、1973、1975、1977、1979	18~26	維持管理(計画修繕)	次期計画での用途廃止を見据え、耐用年数まで活用するため計画修繕に努める	将来的な需要等を考慮し、次期計画で用途廃止とする耐用年数終了時に用途廃止するため、用途廃止10年度前に募集を停止する
霞台	2	24	S57	1982	29	個別改善	福祉対応のため個別改善を行う 2号棟は、老朽化への対応のため、個別改善を行う	良好な居住水準の維持のための修繕を行う
帖下	1	16	S62	1987	34	個別改善	老朽化への対応及び福祉対応のため、個別改善を行う	良好な居住水準の維持のための修繕を行う
真土	2	48	H4、7	1992、1995	39~42	個別改善	老朽化への対応及び子育て世帯支援のため、個別改善を行う	良好な居住水準の維持のための修繕を行う
富士見台	1	18	H12	2000	47	個別改善	老朽化への対応のため、個別改善を行う	良好な居住水準の維持のための修繕を行う

出典：第2次入間市市営住宅長寿命化計画

① 利用状況

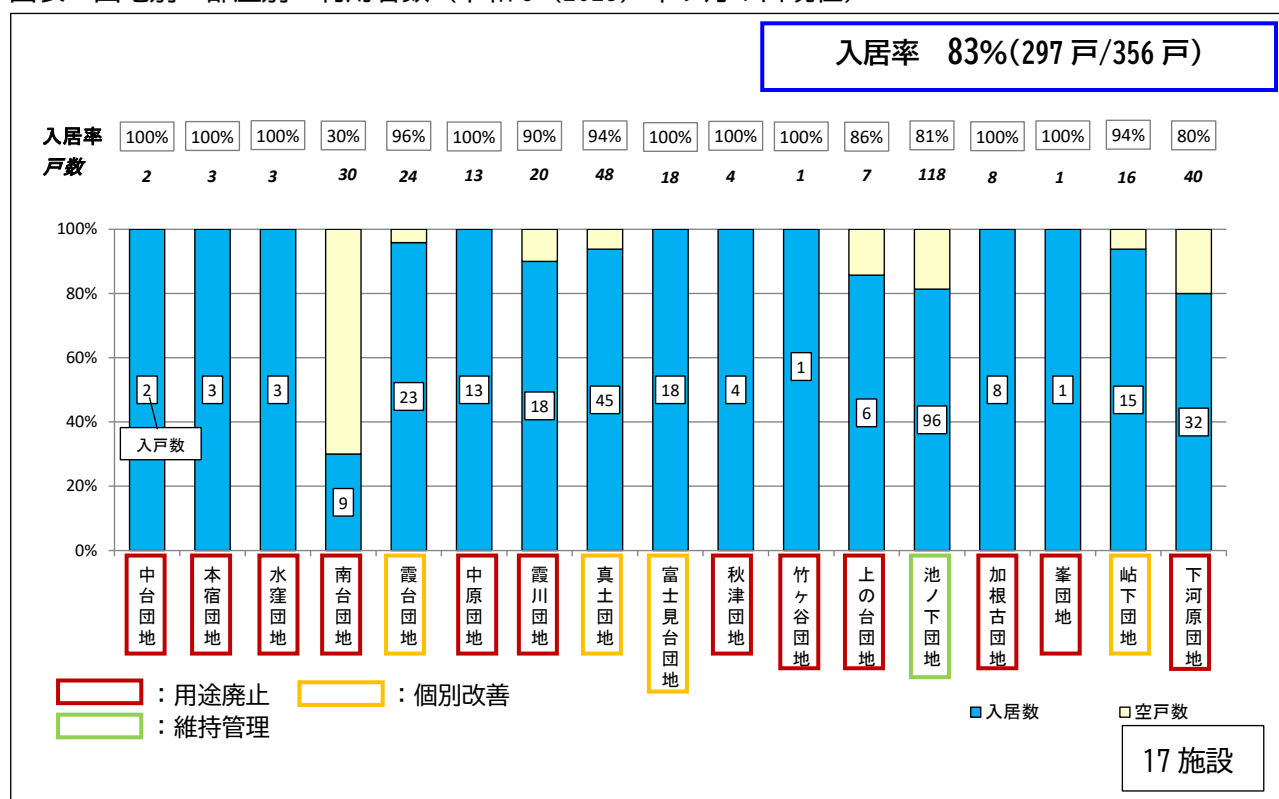
■ 団地別の入居状況

令和 5（2023）年 9 月時点の市営住宅の入居状況は全 356 戸中、297 戸で入居率は 83%となっています。

令和 5（2023）年 9 月時点の団地別入居状況をみると、全体入居率 83%未満の団地が 3 団地となっています。

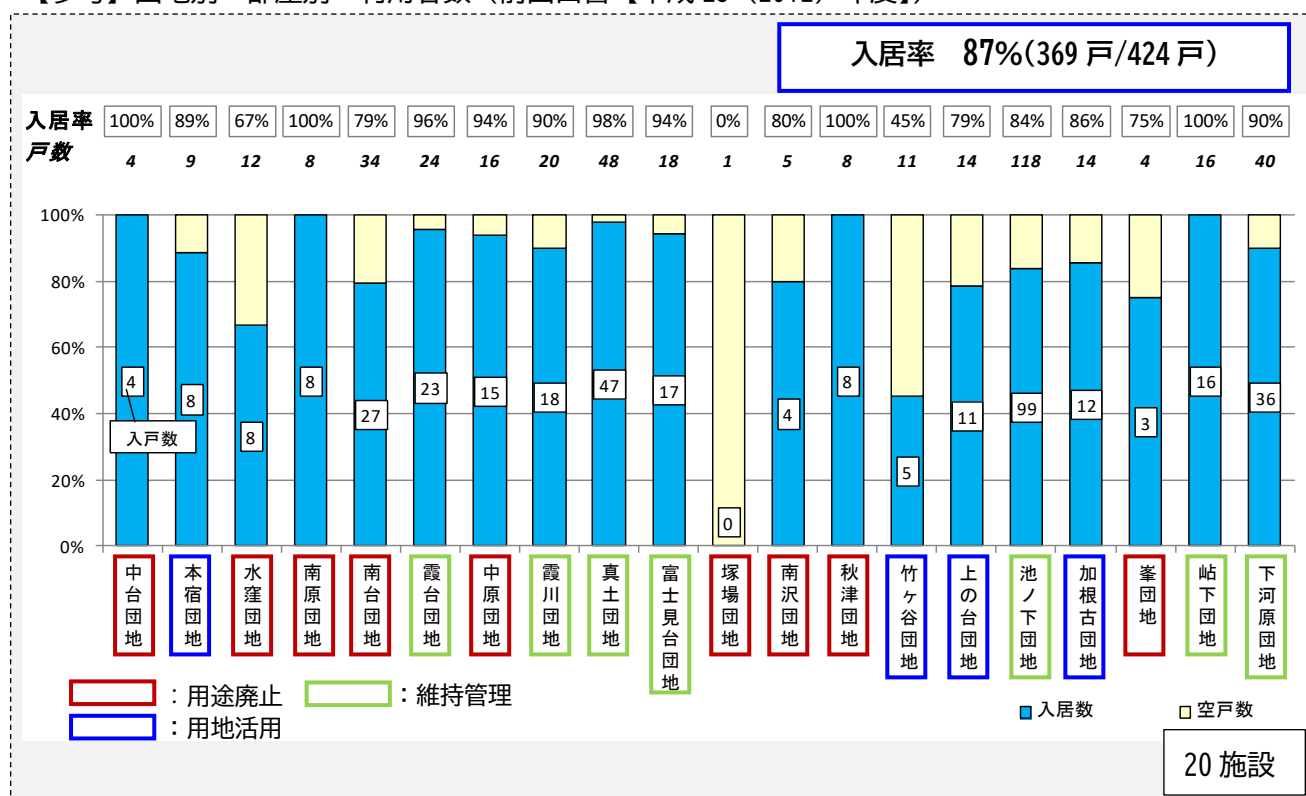
平成 25（2013）年度と比較すると、令和 5（2023）年 9 月時点では、団地数が減少し、入居率も 4 ポイント減少しています。団地別にみると、平成 25（2013）年度は全体の入居率 87%未満の団地が 9 団地あり、その中で 80%以下の団地は 7 団地ありましたが、令和 5（2023）年 9 月時点では、17 団地中 16 団地（南台団地以外）が入居率 80%以上となっています。

図表 団地別・部屋別 利用者数（令和 5（2023）年 9 月 1 日現在）



出典：第 2 次入間市市営住宅長寿命化計画

【参考】団地別・部屋別 利用者数（前回白書【平成 25（2012）年度】）



出典：第 2 次入間市市営住宅長寿命化計画

■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 入居率は83%となっており、団地別入居状況をみると、全体入居率83%未満の団地が3団地となっています。

3) 課題の明確化

- 昭和39年以前に建築された老朽化が著しい住宅への対応が必要となります。
- 今後の社会情勢を踏まえ、若者世帯や子育て世帯などの入居に対応した改善等を計画的に実施していくことが必要となります。

(19) 供給処理施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、供給処理施設を2施設保有しています。総合クリーンセンター、リサイクルプラザの管理運営は、市の直営となっています。

設置目的	
総合クリーンセンター	市内から収集または搬入されたごみを、衛生的かつ安全で安定的に処理することを目的とする
リサイクルプラザ	循環型社会を構築するために、リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（ごみの再生使用）を進めることで、ごみの減量化・資源化を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設	土地 所有	備考
						供給 処理施設		
東金子	1 総合クリーンセンター	新久127-1	8,697.47	平成7	S造	●	市	
	2 リサイクルプラザ		2,425.59	平成10	S造			
合計			11,123.06					

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

<総合クリーンセンター>

入間市のごみ処理施設で、可燃ごみの処理能力が16時間運転で150トン、不燃ごみの処理能力が5時間運転で40トン、資源ごみや可燃性粗大ごみ、不燃性粗大ごみなどを処理できます。

<リサイクルプラザ>

入間市リサイクルプラザは、循環型社会に向けてごみの減量および再生利用を推進・実践するための拠点施設です。

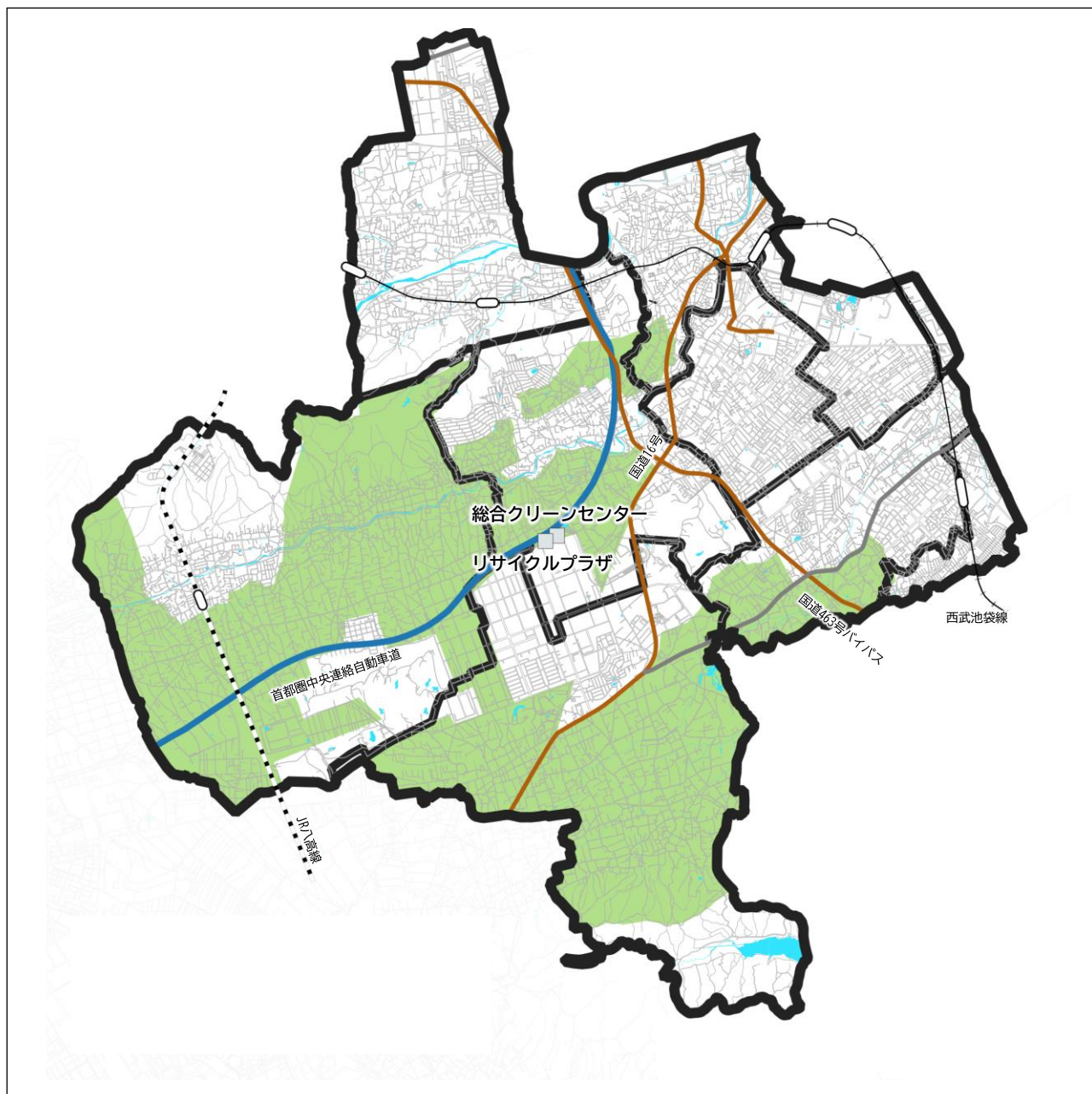
③ 開館時間・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
総合クリーンセンター	午前8時30分～11時30分、 午後1時～4時	日曜日、祝日、年末年始 (12月30日～1月3日)	294日
リサイクルプラザ	午前8時30分～午後5時	月曜日、祝日、年末年始 (12月29日～1月3日)	—

※開館日数は入間市施設カルテ令和4（2022）年度の利用関連情報

④ 配置状況

図表 供給処理施設位置図

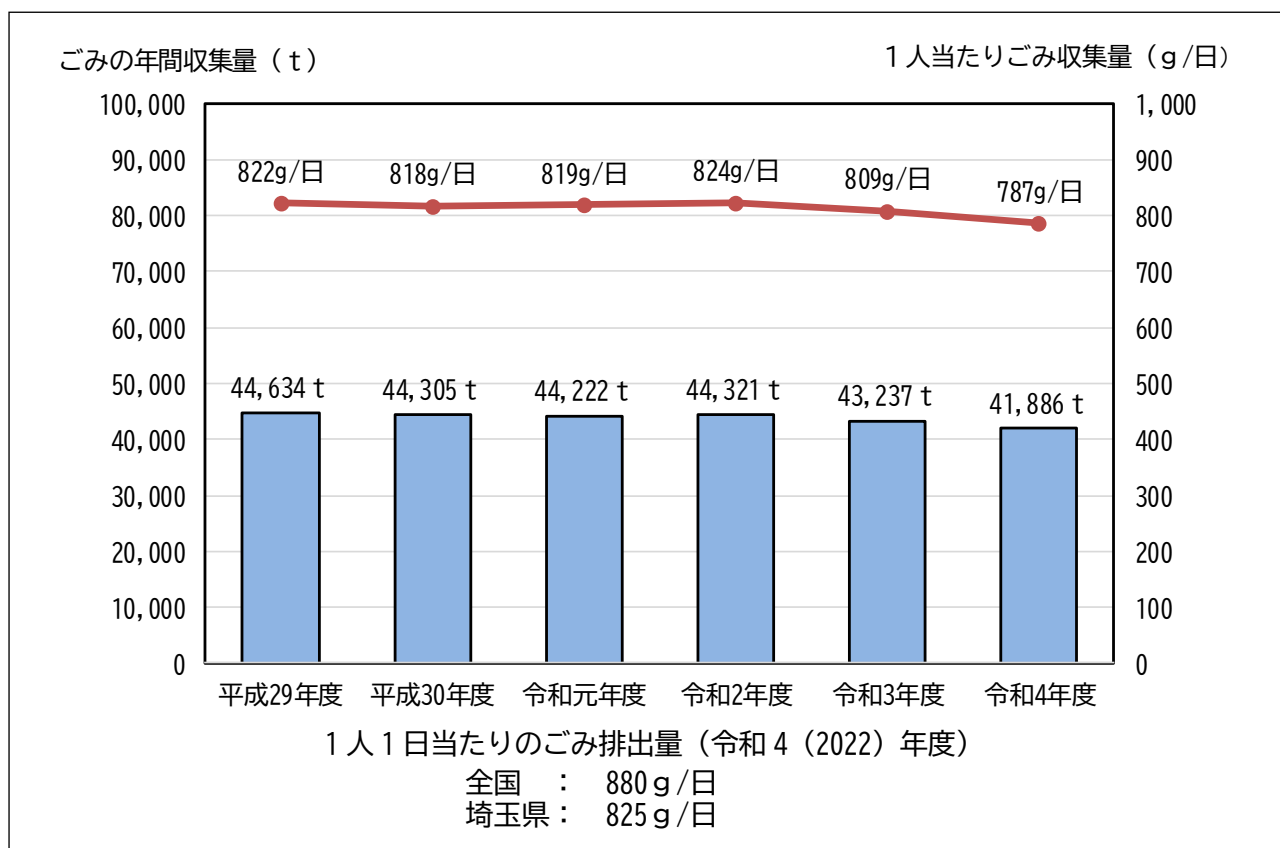


2) 実態把握

① ごみ収集状況

ごみの年間収集量は、平成 29 (2017) 年度の 4 万 4,634 t から令和 4 (2022) 年度の 4 万 1,886 t と減少傾向となっています。1 日の 1 人当たりごみ収集量は、平成 29 (2017) 年度の 822g/日 から令和 4 (2022) 年度の 787g/日 と減少傾向となっています。また入間市の 1 日の 1 人当たりごみ収集量は、全国 (880 g/日)、埼玉県 (825g/日) の 1 日の 1 人当たりごみ収集量以下となっています。

図表 ごみの年間収集量と 1 日の 1 人当たりごみ収集量



出典：入間市統計書

環境省 HP「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和 4 年度）について」

埼玉県 HP「令和 4 (2022) 年度の一般廃棄物（ごみ）の排出及び処理状況等について」

② コスト情報

供給処理施設の年間トータルコストは、18 億 7,209 万円です。平成 24（2012）年度と比べ、約 1 億 7,000 万円程度増加しています。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 9 億 3,719 万円（43%）、事業にかかるコストは 7 億 9,512 万円（50%）、減価償却相当額は 1 億 3,978 万円（8%）です。当該施設から年間 3 億 6,641 万円の収入があります。

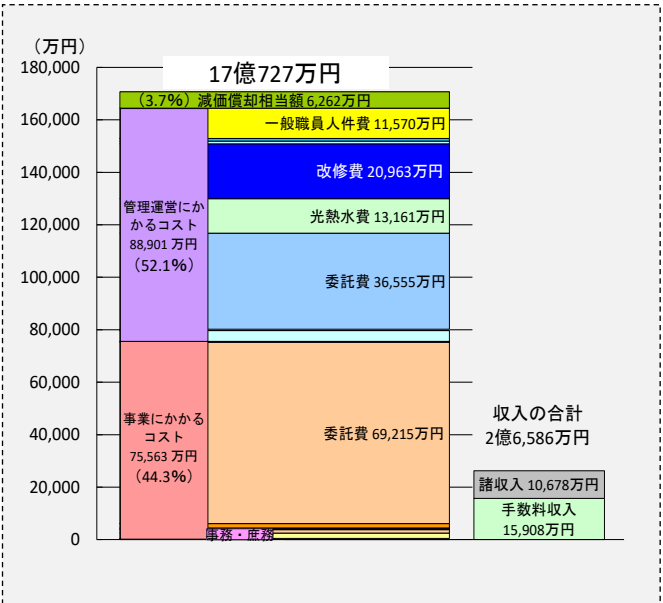
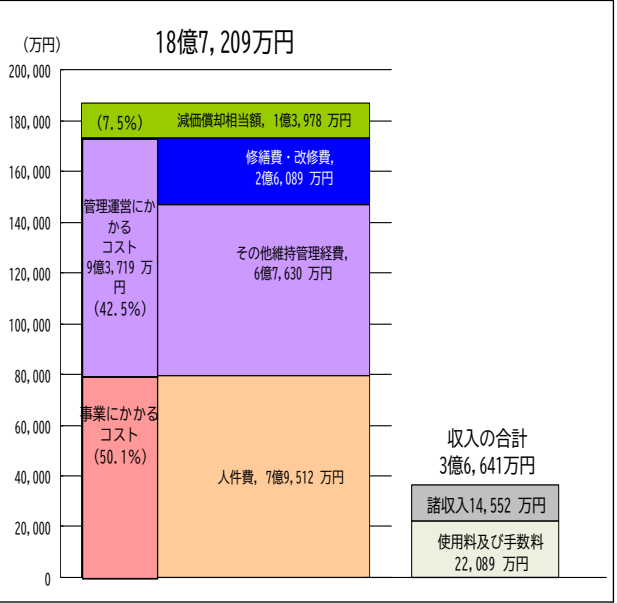
図表 行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

		(円)
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		総合クリーンセンター
にかか る管理 運営 コスト	修繕費	260,889,906
	光熱水費	197,751,099
	委託費	391,065,032
	使用料及び賃借料	23,330,634
	その他物件費	53,173,723
	燃料費	10,976,423
	管理運営にかかるコスト	937,186,817
かに事 業	委託費	795,123,009
	事業にかかるコスト	795,123,009
現金収支を伴うコスト 計		1,732,309,826
【収入の部】		
収入	使用料及び手数料	220,887,805
	諸収入	145,521,426
収入の合計		366,409,231
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	139,776,417
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		1,872,086,243

図表 行政コスト計算書（平成 24（2012）年度）

		(円)
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		総合クリーンセンター
管理 運営 にか か る コ ス ト	一般職員人件費	115,696,378
	その他人件費	155,000
	車両・備品購入費	10,078,907
	修繕費	9,738,842
	改修費	209,632,500
	光熱水費	131,610,479
	委託費	365,546,537
	使用料及び賃借料	5,406,135
	負担金補助及び交付金	17,000
	その他物件費	41,132,339
	管理運営にかかるコスト	889,014,117
事業 にか か る コ ス ト	臨時職員人件費	2,488,757
	その他人件費	10,000
	委託費	692,151,902
	使用料及び賃借料	9,000
	負担金補助及び交付金	16,211,472
	その他物件費	2,948,535
	事業活動	713,819,666
	事務・庶務	光熱水費 3,631,763
	委託費	13,316,310
	使用料及び賃借料	20,357,282
	負担金補助及び交付金	479,345
	その他物件費	4,026,806
	事務・庶務	41,811,506
	事業にかかるコスト	755,631,172
現金収支を伴うコスト 計		1,644,645,289
【収入の部】		
収入	手数料収入	159,077,330
	諸収入	106,783,112
収入の合計		265,860,442
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	62,621,784
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		1,707,267,073
収支差額（ネットコスト）		1,441,406,631

図表 供給処理施設トータルコスト（令和 4（2022）年度）【参考】 前回白書【平成 24（2012）年度】



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 年間収集量と1日の1人当たりごみ収集量は、平成29(2017)年度から令和4(2022)年度にかけて減少傾向となっています。

<コスト状況>

- ② 供給処理施設のトータルコストは、18億7,209万円で、平成24(2012)年度と比べ、約1億7,000万円増加しています。また、ごみの年間収集量が減少している一方で、ごみ処理経費は増加しています。

3) 課題の明確化

- 建設後25年以上経過しており、焼却設備等の耐久性が懸念されています。市民生活には必要不可欠な施設であることから、長期的な視点で施設更新に向けた準備を進める必要であります。
- リサイクルプラザについては、総合クリーンセンター施設更新と合わせて、その必要性やあり方を検討する必要があります。

(20) 水道施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、水道施設を8施設保有しています。水道施設8施設の管理運営は全て市の直営となっています。

設置目的：安全で良質な水の供給と、安定給水を確保することを目的とする

図表 施設一覧

地区		名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
豊岡	第二	1 豊岡配水場	向陽台1-1-8	2,615.00	昭和63	RC造	国・県	
	第三	2 鍵山浄水場	鍵山3-5-5	3,894.25	平成18	RC造	市	
東金子		3 西武第一配水池	大字小谷田1712-2	0.00	令和4	—	市	
		4 東金子配水場	小谷田4-536-2	698.70	昭和60	RC造	市	
金子		5 入間台加圧場	大字根岸473-5	107.60	平成7	RC造	市	
		6 寺竹配水場	大字寺竹428	305.14	平成29	RC造	市	
藤沢第一		7 扇町屋配水場	下藤沢1303	624.97	昭和49	RC造	市	
		8 藤沢配水場	上藤沢108	1,534.85	平成11	RC造	市	
合計				9,780.51				

② 配置状況

図表 水道施設位置図



(21) その他の施設

本市には、(1) から (19) までの市民利用中心の施設と (20) 水道施設のほかに、その他の施設として、防災センター、自転車駐車場、農業研修センターがあります。

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、その他の施設として、3 施設を保有しています。防災センター、農業研修センターの管理運営は、市の直営となっています。入間市駅南口自転車駐車場の管理運営は、業務委託となっています。

設置目的	
防災センター	災害発生時に適切な対応を図るとともに、防災用の備品類を備蓄することを目的とする
入間市駅南口自転車駐車場	市民の自転車利用の利便を図るとともに、放置自転車対策として、駅周辺的环境を整備することを目的とする
農業研修センター	茶生産における技術研修の場を提供することにより、優秀な農業者を育成するとともに、情報交換及び研究の場として活用することで、特産狭山茶の振興を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
豊岡 第二	1 防災センター	向陽台1-1-9	539.32	昭和62	RC造	市	
	2 入間市駅南口自転車駐車場	向陽台1-1-22	1,527.88	昭和60	S造	市	
金子	3 農業研修センター	中神790	549.70	平成7	S造	賃貸借	
合計			2,616.90				

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す（令和 6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和 4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

<防災センター>

防災用の備蓄庫であり、市民には開放されていません。

<入間市駅南口自転車駐車場>

住所問わず有料で利用できる公営自転車駐車場（24 時間利用可能、無休）となっています。

定期利用には、月額の利用料が発生します。

<農業研修センター>

茶農業者・各種農業団体等が技術研修を行う施設です。研修工場では、荒茶製造機を利用して仕上げ及び加工を行う再製室を設置した研修工場や、農業図書、ビデオ等を配置して、研修を行う研修室があります。

③ 開館時間・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
農業研修センター	午前 9 時～ 午後 10 時	年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)	359 日
入間市駅南口自転車 駐車場	24 時間利用可能	—	—

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

<入間市駅南口自転車駐車場>

定期利用を希望される方は、入間市駅南口自転車駐車場にて直接申し込みします。

申込み（更新、解約含む）手続きは土日祝日含め毎日行っています（注意：1 月 1 日から 3 日を除く）。申込み時間は、午前 6 時 00 分から午前 10 時 30 分 または 午後 4 時 00 分から午後 8 時 30 分 の間になっています。

■ 使用料金

単位（円）

利用者の区分				使用料		
				1階	2階	屋上
定期利用者	1箇月	自転車	一般	2,200	1,800	500
			学生	1,700	1,400	400
		原動機付自転車	一般	3,500	—	—
			学生	2,800	—	—
	3箇月	自転車	一般	5,900	4,800	1,300
			学生	4,500	3,700	1,000
		原動機付自転車	一般	9,400	—	—
			学生	7,500	—	—
	6箇月	自転車	一般	11,100	9,100	2,500
			学生	8,600	7,100	2,000
		原動機付自転車	一般	17,700	—	—
			学生	14,200	—	—
一時利用者 (1回)		自転車	一般	150	—	—
			学生	120	—	—
		原動機付自転車	一般	200	—	—
			学生	160	—	—

備考：

1 学生とは、学校教育法(昭和 22（1947）年法律第 26 号)第 1 条に規定する学校又は同法第 124 条に規定する専修学校に在籍する者をいう。

2 この表にない月数で申請しようとする場合の使用料の額は、1 箇月、3 箇月又は 6 箇月の使用料の額を組み合わせる算出した額のうち、最も少ない額とする。

⑤ 配置状況

図表 その他の施設位置図



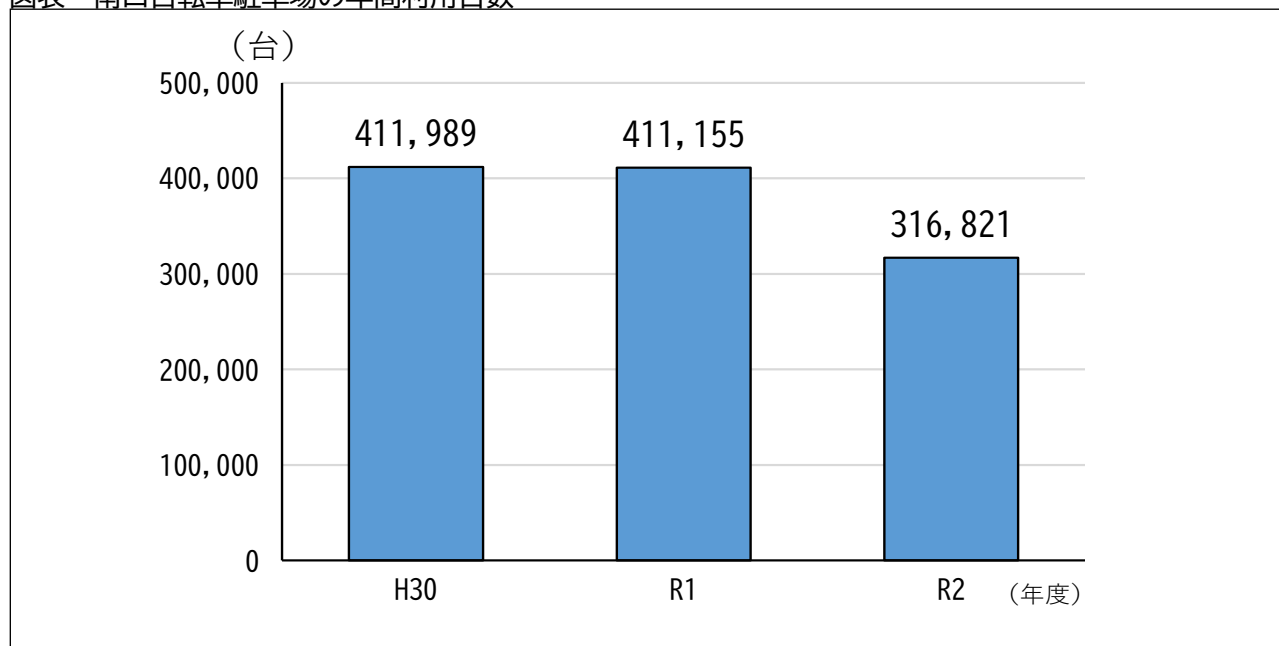
2) 利用実態

① 利用状況

<入間市駅南口自転車駐輪場>

入間市駅南口自転車駐輪場の年間利用台数は、平成 30（2018）年度が 41 万 1,989 台、令和元（2019）年度が 41 万 1,155 台、令和 2（2020）年度が 31 万 6,821 台となっています。

図表 南口自転車駐車場の年間利用台数



出典：市 HP「令和 3（2021）年度入間市公開事業見直し「入間ドック」実施内容」

② コスト情報

<防災センター>

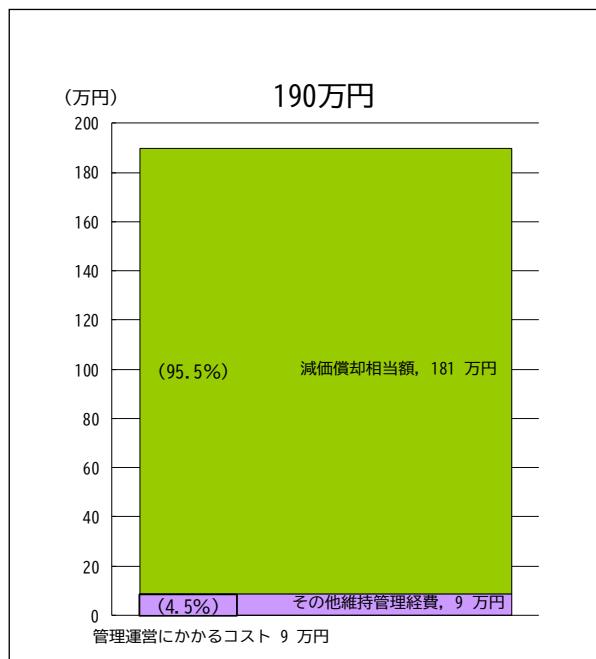
防災センターの年間トータルコストは、190 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 9 万円（5%）、減価償却相当額は 181 万円（95%）です。

図表 行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
かかるコスト 管理運営に	修繕費	0
	光熱水費	48,000
	委託費	0
	使用料及び賃借料	10,000
	その他物件費	28,000
	燃料費	0
	管理運営にかかるコスト	86,000
現金収支を伴うコスト 計		86,000
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	1,811,700
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		1,897,700

図表 トータルコスト（令和 4（2022）年度）



<入間市駅南口自転車駐輪場>

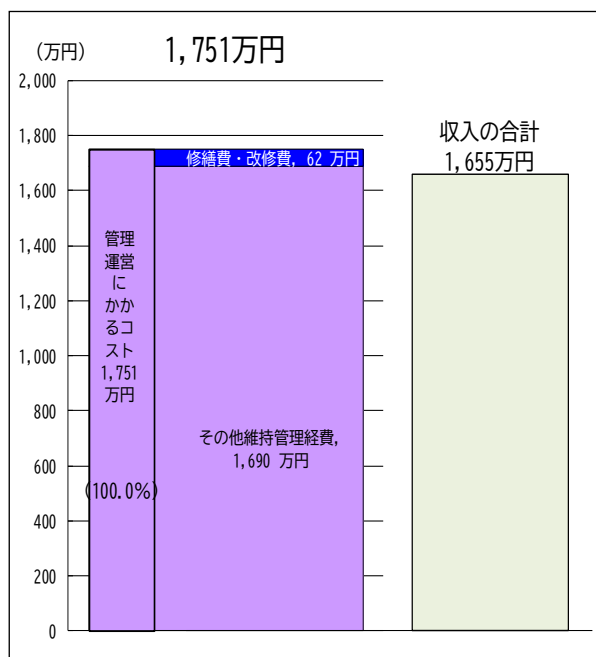
入間市駅南口自転車駐輪場の年間トータルコストは、1,751 万円です。

年間トータルコストはすべて管理運営にかかるコストになっています。

図表 行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）

(円)		
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
かかるコスト 管理運営に	修繕費	615,450
	光熱水費	762,054
	委託費	15,913,304
	使用料及び賃借料	9,240
	その他物件費	212,196
	燃料費	0
	管理運営にかかるコスト	17,512,244
現金収支を伴うコスト 計		17,512,244
【収入の部】		
収入	使用料収入	16,547,780
収入の合計		16,547,780
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	0
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		17,512,244

図表 トータルコスト（令和 4（2022）年度）



<農業研修センター>

農業研修センターの年間トータルコストは、615 万円です。平成 24（2012）年度と比較して、トータルコストは減少しています。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 207 万円（34%）、減価償却相当額は 408 万円（66%）です。

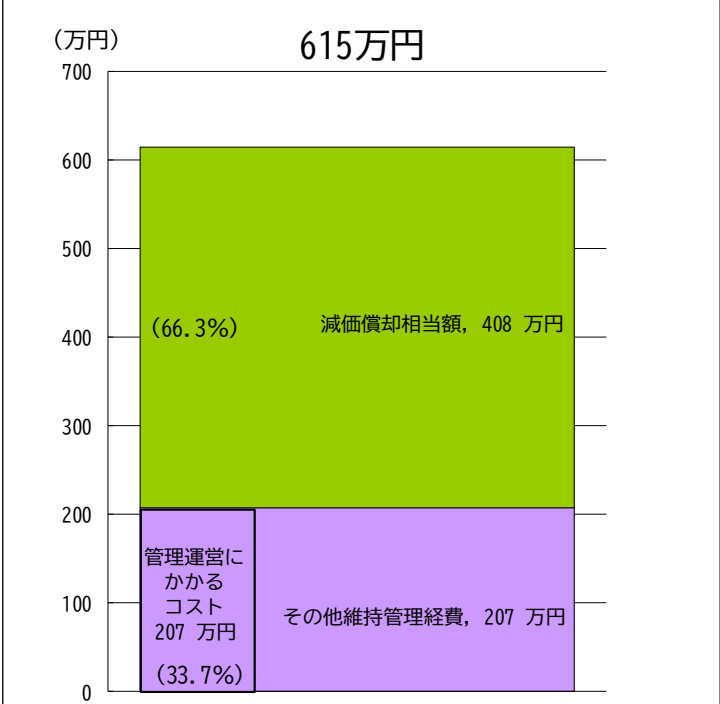
図表 行政コスト計算書（令和 4（2022）年度）
(円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		農業研修センター
かかるコスト	修繕費	0
	光熱水費	752,451
	委託費	556,879
	使用料及び賃借料	575,715
	その他物件費	75,793
	燃料費	108,592
	管理運営にかかるコスト	2,069,430
	現金収支を伴うコスト 計	2,069,430
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
II.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	4,078,800
III.総括		
コストの部合計(トータルコスト)		6,148,230

【参考】前回白書【平成 24（2022）年度】
(円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		農業研修センター
管理運営にかかるコスト	その他人件費	0
	修繕費	62,500
	光熱水費	819,663
	委託費	634,704
	使用料及び賃借料	591,135
	その他物件費	72,911
	管理運営にかかるコスト	2,180,913
	指定管理委託料	0
現金収支を伴うコスト 計		2,180,913
【収入の部】		
収入	分担金及び負担金(収入)	0
	使用料収入	0
収入の合計		0
II.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	
III.総括		
コストの部合計(トータルコスト)		6,148,230
収支差額(ネットコスト)		8,001,266

図表 農業研修センター トータルコスト（令和 4（2022）年度）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 入間市駅南口自転車駐輪場の年間利用台数は、平成 30（2018）年度が 41 万 1,989 台、令和元（2019）年度が 41 万 1,155 台、令和 2（2020）年度が 31 万 6,821 台となっています。

<コスト状況>

- ② 防災センターのトータルコストは 190 万円で、その内、減価償却相当額が 95%となっています。
- ③ 入間市駅南口自転車駐輪場のトータルコストは 1,751 万円、収入が 1,655 万円となっています。
- ④ 農業研修センターのトータルコストは、615 万円となっており、平成 24（2012）年度より減少しています。

3) 課題の明確化

- 農業研修センターは老朽化による更新を検討する必要があります。
- 防災センターは現在の利用方法も含めて今後のあり方について検討する必要があります。